

門二奴 / 286 16

東京帝國大學圖書

具氏博

物學卷之六

亞須川賢久

田中芳男

哺乳動物綱

第九目

翻芻類

駱駝屬 此貴重ス 四足獸ニ種アリ

亞刺伯駱駝 即美豆ノ外ハ是ナ

リバカトリアノ駱駝ハ波斯及土耳其ニ棲息レ

身ノ長サハ丈許背ニ肉鞍ノ如ク隆起セシ者ニ

個アリテ毛ハ大概褐色ナリ亞刺伯駱駝ハ亞刺

博物學 卷六 文部省

伯ノ北部及亞非利加印度等ニ産シテ背上ニ隆起シタル肉鞍一個アルノ身ノ長サ八尺許毛ハ淡褐色ナリ

駱駝ハ昔時ヨリノ家畜ナリ其之ヲ使役シテ貨物ヲ搬運スルノ他更ニ手段ナキ諸國ニ在リテハ常ニ此獸ヲ用井テ賣買ノ貨物ヲ運送ス亞刺伯ノ沙漠ヲ經過スル行商旅客等ハ盜賊ノ掠剽ヲ防ク爲ニ隊伍ヲ結ビテ旅行スト云フ外間駱駝ノ腹中ニハ水貯アリ亞刺伯ノ大沙漠ヲ越ストスルニ先水ヲ飲テ之ヲ腹中ニ貯ヘ十

第百二十八圖



駱駝
結隊旅客

日乃至十二日間旅行ノ用ヲ供ス駱駝ハ砂上ヲ歩行スルニ適當シタル足ヲ具シテ其形ハ椅褥ノ如シ食物ハ刺多キ灌木波斯棗蠶豆等ヲ嗜ム者ナリ大概三百乃至四百ボト以テ重荷ヲ負フ可クシテ之ニ荷物ヲ負載ゼントスル片ハ脚ヲ屈メ跪キテ之ヲ受ク重サ其力ニ足レバ則起行レ重サ其力ニ過ル

トキハ過タルタケノ荷物ヲ取除カザレハ則決
レテ起行セス亞刺伯人ハ駱駝ヲ神聖ノ獸トシ
テ貴重ス蓋此獸ナカリセバ旅行貿易ヲ爲レテ
生計ヲ營ムコト能ハザレヲ以テナリ又其肉ト乳
トハ常食ニ充テ其毛ハ織リテ衣服ヲ製ス又亞
刺伯人ハ駱駝ヲ以テ沙漠ノ舟ト稱ス此獸ノ壽
ハ大凡五十年ナリ
駱羊屬 此屬ハ南亞米利加ニ棲息スル奇異獸
ノ一ニシテ固有駱羊、バコ、クナ等ヲ包有ス駱
羊ハ大サ驢ノ如ク形ハ背ニ塊肉ナキ駱駝ノ如

レ性温和ニシテ容貌モ亦羊ノ如ク柔和ナリ然
レドモ太勞作セレムベキ者ニシテ安的斯ノ由
路ヲ踰テ荷物ヲ運送スルニ屢之ヲ使役ス一頭
ニシテ百五十斤ノ重荷ヲ運送スベシ其忿怒ス
ルトキハ人ノ面ヲ傷クト云フ又「ギユ」ナリハ駱
羊ノ變種ナレドモ駱羊ニ比レバ稍大ニシテ
毛色種々ナリ
麋鹿屬 此屬ハ北亞米利加ニ産スル者五種アリ
カ拿他ヨリ墨西哥ニ至ル林中ニ夥多ナル尋
常鹿即勿爾吉尼鹿、岩石山ノ近傍ニ棲息スル黑

博物志 卷六 三

第二百九圖



米利堅麋
アメリカン
マシ



騾鹿
ハルゲル

尾鹿、即騾鹿、合衆國ノ西部及
テッドガム加拿駝ニ棲息ス、ハインゲル米利堅麋
アメリカン即「ウツピヨ」加拿陀及合衆
 國ノ北界ニ産スル「ハース」麋
類馴鹿ノ二種合衆國ノ北部
シブニ棲息スル荒地「カリブ」及
ハルゲル林地「カリブ」等是ナリ
 其他尚二種アルベク想定ス
レドモ恐クハ騾鹿及勿爾吉
ハルゲルニ鹿ノ種類ナラン

第三百圖



軸角鹿
エキレス



金錢鹿
ハルゲル

勿爾吉尼鹿ハ歐羅巴ニ産スル金錢鹿ニ類似シ
ビハ敏捷美麗ノ者ニテ好クテ林中ニ棲息シ人之
 ニ近コレバ則跳躍シテ逸去ス此鹿ハ響尾蛇ヲ
 厭惡スルヲ甚シク之ヲ見レハ自ラ空中ニ跳起
ラトルシ蛇上ニ向テ一齊ニ四足ヲ落シ壓壞シ之ヲ
 殺スト云フ此鹿ハ大西洋ノ海岸ニ沿
 テテ夥多ナリシガ連年ノ戦争ニ因リ
 テ甚稀少ニナリタ

麝ハ其種類數多アル者ニレテ亞細亞ニ産ス
キヌキ
 麒麟即之拉味カノババ此奇異ナル四足獸ハ高サ一丈
シラ
 七尺許アリ其毛ハ光澤アルシラ覺斑色ニレテ黒キ

第三百三圖



麒麟

斑點ヲ帯ト尾端ニハ
 流蘇狀ノ長キ黒毛ア
 リテ亞非利加中部ニ
 棲息ス其肩甚高キガ
 為ニ前脚ハ後脚ヨリ
 二倍許長ク見ユ頸ハ
 細クシテ長ク頭ハ美

第三百四圖



アダック 羚羊



長角 羚羊

麗ナリ目ハ柔和ニレテ視力善キ者トシ麒麟ハ
 其産地ニ在テ樹木ノ枝ヲ食ヒ特ニ莢豆類ノ枝
 ヲ食ヘドモ地上ニアル食物ヲ採ルコトハ甚難
 シ其緩歩スルトキハ見苦シカラザレドモ駈走
 スルトキハ長キ頸ヲ前後ニ振りテ最モ可笑キ

形状ヲナス此獸
 ハ其踵ヲ以テ能
 ク仇敵ヲ蹴テ防
 グ者ニレテ其蹴
 ルハ甚迅速獅

子ト雖モ之ヲ避ク此獸絶テ聲ヲ發セズ又人ニ
用ヲナサズ害モ爲ザル者ナリ

羚羊屬 此屬ハ尋常羚羊即チ印度羚羊、線條羚

羊、跳羚羊、麋羚羊、サイジアン、羚羊「ハルトビース

ト又角羚羊、甲冑羚羊、アタクク長角羚羊、四角羚羊、

リートボック、ブリスボック、藪羚羊「レヤム」等ノ如

キ數多ノ種ヲ包有ス角馬ハ此屬中ノ者ト定ム

レドモ恐クハ適當ナラザラン亞米利加合衆國

ニ棲息スル又角羚羊ヲ除クノ外ハ皆東大陸ニ

産スル者ナリ羚羊ハ皆大ニレテ煌々タル目ト

尖リタル耳ト細キ脚トヲ具フルヲ以テ他獸ト

區別ス其性大概怯懦ニレテ敏捷ナリ角ハ鹿類

ノ如ク脱落スル者ニ非ス

尋常羚羊ハ尋常鹿ニ比フニハ稍小ニレテ兒仔

ノ毛ハ帶黄ノ麁

班色ニレテ成長

スルニ從ヒ黑色

ヲ帶フ印度ノ全

地方ニ棲息シ人

ノ在住ス可カラサル郊野中ニ五六十頭ツニ群

第三百五圖



尋常羚羊



又角羚羊

ヲ爲シテ逍遙セリ印度ノ諸侯ハ馴教シタル鷹
ヲ以テ羚羊ヲ獵取ス但此鷹ハ其爪ヲ羚羊ノ頭

第三百六圖



多角羊



四角羊

及咽喉ニ立テ而
イテ犬ノ來ルヲ
待ツト云ノ線條
羚羊ハ大サハタ
鹿ノ如クレ

テ背ヨリ兩脇ニ到ル白色ノ線アリテ喜望峰ニ
棲息ス麋羚羊ノ直角ヲ具レ身ノ長サニ尺許
レテ印度、シベリヤ及亞非利加ノ南部ニ棲息ス

第三百七圖



リットボク

ノニアル羚羊ハ歐羅巴及亞細
亞北部ノ荒地ニ棲息ス又角羚
羊ハ岩石山近傍ノ平地ニ産ス
ル温和な獸ナリ甲冑羚羊ハ背
及脇ノ上ニ甲冑ニ類似セル奇
異白色ノ斑紋アリテ亞非利加
ノハゼ子ガルニ産ス藍色羚羊ハ銀色ヲ帶タル藍
色ニレテ亞非利加ノ南部ニ産スリッボク等ハ皆亞非利加産
者ナリ

圖八百三第



跳羚羊



アリスボック

麋羊ハ羚羊中ノ數種ニ用井ル名稱ニシテ麋羊ノ中ニハ「スグリングボク」
ク「バスマ」亞非

利加ニ産スル塞内牙羚羊波斯ニ産スル固有麋羊等アリ固有麋羊ハ細キ美麗ノ歌ニシテ深キ柔和大眼ヲ有ス波斯ノ詩人ハ麋羊ノ眼ヲ以テ愛婦ノ美目ニ擬スハト云

圖九百三第



スイヒヤチ

「イヤヒイス」我邦ガヒカ一名「クラ」此類ナリ此獸ハ身長サ三尺乃至四尺許ニシテ毛ハ褐色尾ハ短シ角ヲ具シテ其尖ハ鉤狀ニ曲リタリ瑞士ノ山中ニ産シテ甚活潑動

作スル者ナリ叫聲ハ詳ナラザレドモ恐怖スルトキハ「ヒウト」云ノ聲ヲ發シ足ヲ以テ烈シク地ヲ打チ此岩コリ彼岩ニ跳躍シ頭ヲ回ラレテ周

邊ヲ見ル者ナリ牧草美味ノ草木及芽類ヲ食ト
 ナス之ヲ獵取スルヲハ甚難ク且危険ナリ而シ
 テ此危険ナル獵狩ノ爲ニ數多ノ朋友ヲ失ヒタ
 ル人ト雖モ尚好ミテ此獸ヲ獵スト云フ
 山羊屬 此屬ハ其種類數多ニシテ之ヲ數個一
 分ツ其主眼ナル者ハ亞方伯山及必里尼斯山ニ
 産ハル石羊亞比西尼石羊波斯山羊(但家畜山羊
 此山羊ヨリ出タリ)喜馬拉產ノセハラ山羊及
 家畜山羊ニ類似セル岩石山山羊等ナリ山羊屬
 ハ其性綿羊ト羚羊トニ關涉シ身體強壯好ミテ

埃及山羊



第四百圖

岩石及峻岨ナレ處ニ逍遙シ
 テ眩暈スベキ巖嶺絶壁等ヲ
 安然攀登シ或ハ往々巖邊石
 端ニ睡眠スルヲ見ルコトア
 リ外國ニテ貧人ハ山羊ヲ畜
 ヒテ牛ニ代ヘ其乳汁ヲ取ル
 蓋山羊ハ畜養シ易キガ爲ニ
 貧人ニハ甚有用ノ者ナリ
 家畜山羊ノ種中ニハ種々製
 造ノ用ニ供ス可キ柔軟ナル白色ノ長毛ヲ具ス

第四百一圖



叙里亞山羊
レリアンゴ

ル著名ノ「アングラ」種及「カレミ」

綿羊屬 野生綿羊ハ亞細亞、亞非利加及歐羅巴

ノ山中ニ群集棲息シ北亞米利加ニテハ岩石山

ニ棲息ス野生綿羊ハ「アルガリ」野生綿中ノ二種

ヨリ生出レタル者ト思ハル家畜綿羊モ亦此ニ

種ヨリ出カタル考ニテ其種類甚夥ニ當今英吉

利及亞米利加ニ移殖シタル西班牙産ノ「メリノ」

綿羊ハ美麗ナル上品ノ毛ヲ産

スルガ爲ニ綿羊中ノ第一位ニ

居ル英吉利及新英吉利ニテハ

此貴重ナル綿羊ヲ飼養スルガ

爲ニ甚注意スト云フ

亞非利加綿羊ハ廣キ尾ヲ具シ

阿斯達干綿羊ハ螺旋ノ如ク卷

縮シタル美麗ノ毛ヲ生シ「レリ

第四百二圖

南方毛綿羊



メリノ綿羊



牛屬 此屬中ニハ家畜牛、亞非利加及亞細亞ニ

カシミアニ綿羊ハ地上ニ曳ク可キ充分長キ尾ヲ

有テ印度及支那ニハ固有ノ種類ノ産スレドモ
最有用ナル種類ハ歐羅巴及亞米利加ニ産スル
者ナリ斯ク綿羊種ノ殊異ナルハ專氣侯ニ關係
スト云フハルバリニ産スル綿羊ハ鬚アリテ
野生特別ノ種ナリ

牛屬 此屬中ニハ家畜牛、亞非利加及亞細亞ニ
産スル水牛、印度及支那ニ産スルアルニ北亞
米利加ニ産スル獅牛亞細亞中部ニ産スル牝牛
歐羅巴ニ産スルオロチス、印度ニ産スルゴロ

第四百三三圖



歐羅巴牛

於テ尋常ノ者ナリ駝背牛ハ印度牛即駝背牛ト名
ヅクハ者ニレテ印度其他亞細亞ノ部分及亞非
利加ニ於テ尋常ノ者ナリ駝背牛ハ直背牛ノ如
各皆殊異アル種ヲ編成ス可キ
者一思ハル
家畜牛ヲ分チテ二個トス直背
牛、駝背牛是ナリ直背牛ハ亞米
利加合衆國及歐羅巴ノ各所ニ

博物志卷六
牛類
第四百四圖

第四百四圖



亞細亞牛即犏牛
アヒラツクダウ、ヒン

リ出々々者ナリ南亞米利加ニ野牛ヲ捕ルニ
ハ通例蹄網ヲ使用スト云フ此等ノ牛ハ
家畜牝牛ハ獸類中最温和ノ者ニシテ世人ニ最

ク之ヲ分チテ數種トス直背駝
背ノ二種ハ尋常牛種ヨリ出々
ル者ト想定スレドモ其出顯シ
タル根元ハ確實ナラズ墨西哥
及南亞米利加ニ産スル野牛ハ
歐羅巴ヨリ亞米利加ニ移住セ
人ノ齋レタル家畜牛ノ種ヨ

第四百五圖



蹄網ヲ以テ野牛ヲ捕フ

要用ナリ特ニ兒童ノ朋友
トス何トシレバ兒童日常
ノ食物ハ大概牝牛ノ乳汁
ト肉トヲ以テレ各童ヲシ
テ早ク此獸ハ人ニクク可
ラザル者タルコトヲ了知

セシムルニ因リテナリ家畜牝牛ノ中ニ於テ乳
汁、爲一最有名ナル種類ハ當今合衆國中ニテ
能ク認知セル短角「ジール」ハ此ノ種ナリ
獅牛 此獸ハ北亞米利加固有ノ産ニシテ合衆

第四百六圖



亞米利加獅牛
アノリカンビーリ

肩及體ノ上部ハ
色ニシテ其末ハ
獅牛ノ食物ヲ食

國西部ノ郊野中ニ群ヲ聯子テ
棲息セリ見今米西悉比ノ東部
ニ棲息セザレトモ昔時恐クハ
棲息セシ者ナラン且此獸ハ酷
歐羅巴産ノオーロチスニ肖テ
大サハ尋常牛ニ等シク肩上ニ
駝背ノ如キ巨大ノ塊肉アリ頭
長キ褐色ノ絨毛ヲ蒙リ尾ハ黒
流蘇狀ナリ
獅牛ノ食物ヲ食フ間ハ隊ヲ解テ各郊野中散

第四百七圖



「オーロチス即歐羅巴獅牛
ヨウロウマンビーリン

ニ河中ニ出没スト云フ
獅牛ハ好ミテ燒後郊野ニ生スル柔軟ノ草ヲ食

亂スルトモ其運動スル下キ奈密列ニ隊伍ヲ結
ビテ行進シ容易ニ之ヲ阻遏ス
ルコト能ハズ若途上ニ大河ア
レバ更ニ恐懼逡巡セズレテ各
順列ヲ亂ダサズ游泳レテ之ヲ
渡ルコト恰モ陸地ヲ運行スル
カ如シ又此獸ハ獵夫ニ追ハレ
或ハ食物ヲ探索スルカ爲ニ常

フ冬間ハ積雪ヲ跑シテ草ヲ搜索ス其性怯懦
 シテ人ヲ恐ルレドモ若シ創傷ヲ蒙ムルトキハ忽
 狂暴トナリテ甚危険ナリ亞米利加ノ土人ハ其
 肉ト皮トヲ得ンガ爲ニ斷エズ此獸ト争闘ヲ爲
 スト云フ之ヲ捕ルノ良法ハ騎馬ニテ群集シタ
 ル所ニ乘入り直ニ之ヲ射獲スルナリ又大凡直
 徑二百「ヤル」ノ柵ヲ作りテ之ヲ捕ルコトアリ
 ト云フ
 水牛 此獸ハ牛ニ類似スレドモ體軀ハ牛ヨリ
 差肥短ナリ其狀貌ハ鈍劣粗暴ニシテ常ニ頭ヲ

第四百八圖



亞非利加水牛

此ニ垂ル亞非利加及印度ニハ
 野生ノ水牛群集ヒリ印度ニテ
 ハ水牛ノ耕地ヲ傷害スルコト
 往々之アリト云フ又希臘及以
 太利ニテハ尋常牛ノ代ニ水牛
 ヲ畜養ス水牛ハ尋常牛ニ比ブ
 ハ頗強壯ニメ其牝ハ乳汁ヲ
 生ズルコト甚多シ然レドモ此乳汁ハ善良ノモ
 ノニ非ス

麝牛 此獸ハ北亞米利加ノ北極地方ニ棲息シ



印度水牛
インディビウハロ

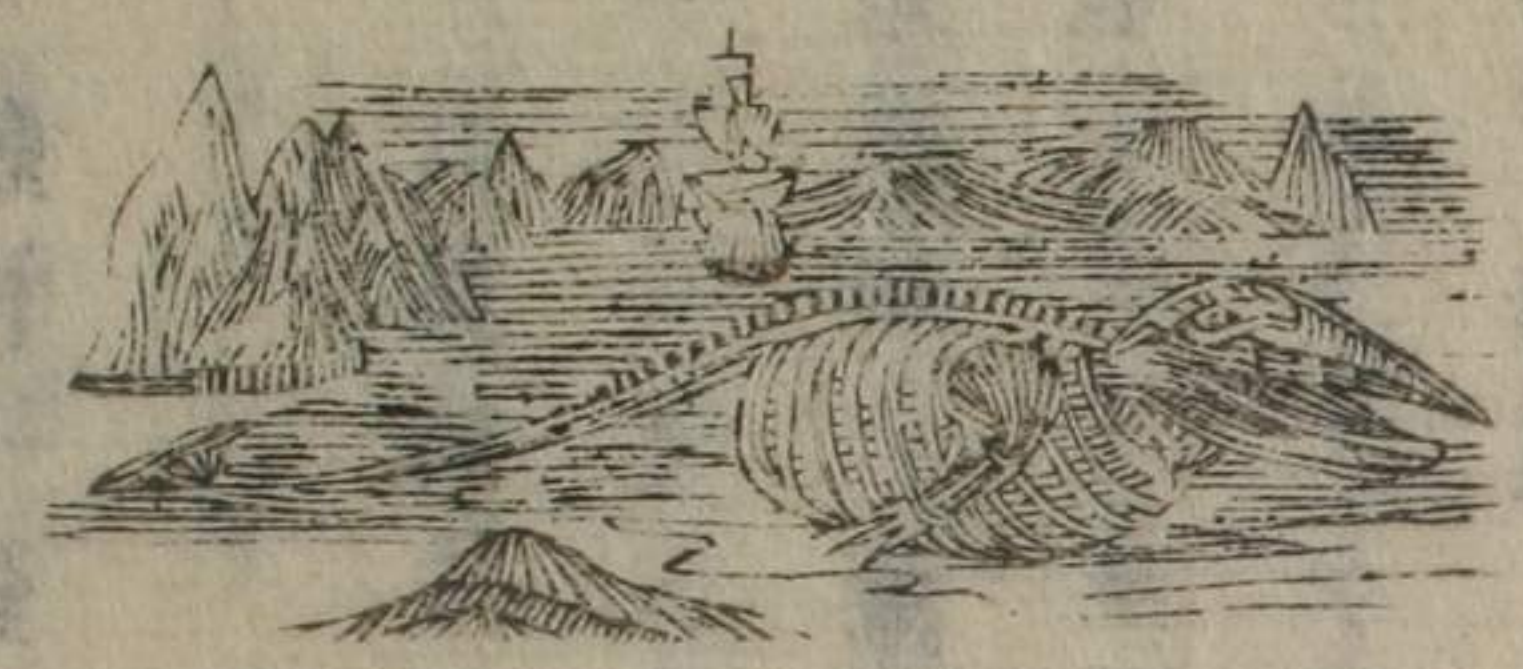
行歩スレトキハ必群ヲ聯テ行進シ冬間ハ苔類ヲ食ヒ夏間ハ草ヲ食フ

テ大サハ小牛ノ如ク角ノ下方ニ向ヒテ^{ホホ}臉ノ處ニ至リテ彎曲レ其銳尖ハ上ノ方ニ向フ毛ハ帶黒褐色ニシテ甚長ク美麗ナルコト恰モ絹糸ノ如シ脚ハ短ナレドモ走ルコト極メテ迅速ニシテ容易ニ巖石ヲ攀登ス其

第十一目 鯨鯨類

此目ハ海牛、海猪、猪魚、一角魚、鯨魚等ヲ包有ス水

第五百圖



鯨魚ノ骸骨

中ニ棲息シテ魚類ノ如ク游泳スル動物ハ大概此目ニ屬セリ然レドモ此等ノ動物ハ海中ニ生々スル魚類トハ一種異性ヲ有シテ陸生動物ト同性質ヲ稟受レ温血アリテ胎生ノモノナリ此二個條ニ因リテ此

目中ノ動物ハ全ク魚類ト類ヲ同クセザルコト
明ナリ

海牛 此動物ハ此種二個アリ一ハ身ノ長サ八
尺許一ハ一丈二尺許ニレテ各種共ニ南亞米利
及亞非利加ノ海中ニ棲息シ時トシテ、大河ニ
溯リ來ルコトアリ總テ海牛ハ游泳ニ使用ス
ル手ノ如キモノ二個アリ此手甚輕クシテ軟キ
爪ヲ具シ海藻ヲ食トス此獸ハ能ク牛ニ類似セ
ル所アルガ故ニ海牛ト名ヅケ肉ハ頗値價ナル
者ナリ其性群居ヲ好ム者ニレテ往々數百頭群

集セルヲ見ルコトアリ其游泳スルハ體ヲ少シ
ク水面上ニ出ス者ナリ又世人ノ人魚ト唱フ所
ハ乃海牛ノ牝ヨリ出タル説ナラレ
ゴシゴシク此動物ハ印度洋及太平洋ノ各所
ニ棲息シ身ノ長サ七尺乃至八尺許ニシテ海藻
ヲ食フ形狀ト習慣トハ海牛ニ類似スト云フ
海猪 此動物ハ身ノ長サ八尺乃至一丈許ニシ
テ能クホルポイスニ類似シ背部ハ黒色ニシ
腹部ハ白色ナリ兩腮ニ數多ノ齒ヲ具シ歐羅巴
及亞細亞ノ海中ニ棲息ス凡海猪ノ海面ニ遊戲

博物志 卷六 七

スルコトハ暴風雨ノ前表ナリト云フ
 グラフンピニス和名カマダ此動物ハ身ノ長サニ丈四
 尺許極メテ貪食ニシテ魚類ヲ食フコト甚夥多
 ナリ平常同類ト争鬪ヲナサズ其兒子ヲ愛スル
 コト甚懇切ニシテ深キ海中ニ棲息ス
 ポルボイス此動物ハ身ノ長サ五尺許ニシテ
 背部ハ黒色腹部ハ白色ナリ無數群集シテ其體
 ヲ海面ニ挺出シ波間ニ動搖スルヲ見ルニト往
 タ之アリ此動物ハ亞米利加海中ノ各所ニ於テ
 尋常ノ者タリ

一角魚 此動物ハ身ノ長サニ丈乃至三丈ニシ
 ナルヲ北水洋ニ棲息シ上腮ハ下腮ヨリ前ニ凸出シ
 下腮ヨリ尖銳ナル細長キ二個ノ牙ヲ生ズ但此
 牙ノ組織ハ象牙ヨリモ堅硬ナリト云フ此牙ヲ
 以テ自己ノ餌食ス可キ物ヲ襲ヒ或ハ鯨魚ヲ殺
 害スルヨト往々之アリ一角魚ハ古來久シク小
 説中ニアル一角獸ナリト想像セリ
 壺魚 イナカフ多シ 此動物ハ其種類數多ニシテ大頭壺魚ハ
スルヤトカハシ 長サ六丈ニ及フ者往々之アリ凡バ壺魚ハ尋
 常鯨ノ如ク大ナラザレトモ人ニ甚貴重ナラ

海魚類
捕鯨
鯨

第五百一圖



壺魚
スバルヱ

海中魚類ニハ甚有害ノ者タ
リ世人此真甲鯨ヨリ鯨頭油及
龍涎香ヲ製出ス此鯨ハ夥シク
大平洋中ニ居リ一處ニ二百頭
モ群集スルコトアリ此時獵鯨
船ヲ以テ之ヲ襲ヒ十頭乃至十
ニ頭ヲ獵獲スルコト往々之ア
リ大頭壺魚ハ洋中ノ一怪物
ンテ沙魚猪魚海猪等ヲ容易ニ
餌食スル者ナリ

海魚類
捕鯨
鯨

第五百二圖



鯨魚
ホウゴ

鯨魚 此動物ハ洋中ノ象ニ
テ其大サハ諸魚諸獸ニ卓越シ
其種數多アリ即綠洲鯨氷洲鯨
新英吉利鯨等是ナリ綠洲鯨ハ
獵鯨船ノ最搜索スベキ者ニシ
テ身ノ長四丈乃至八丈許頭ハ
其三分ノ一ニ居リ口ハ甚廣潤
ニシテ馬車ヲ並吞スベシ舌ハ
臍肉ヨリ成ルモノニシテ大十
ル裝毛禡ニ善ク類以セリ皮ハ

海魚類
捕鯨
鯨

黑色ニシテ厚ク皮肉ノ間ニ鯨脂アリ獵鯨人ハ
此脂ヲ數片ニ截斷シ而後之ヲ煎熬シ以テ膏油
ヲ製スト云フ

第五百三圖



鯨ヲ擊ツ圖

此鯨ハ一子ヲ産スル者
ニシテ其兒子ヲ慈愛ス
ルコト甚深シ鯨一頭ノ
大ハハ大凡象ノ五十頭
ニ等シク強カハ思量ス
可ラサレドモ漁夫ハ鉆
ト名ヅケタル長網ヲ具

ニタル鎗狀ノ器具ヲ以テ之ヲ刺殺ス鯨ハ壺魚
ノ如ク巨大ノ物ヲ吞ムトナク無齒ニシテ腮
中ニ鯨鬚アリ此鬚ノ運動ニ因リテ食物ヲ食フ
其食ハ多ク鯨丸ト名ヅクル海中ノ黒キ小蟲ナ
リ總ヘテ鯨ノ身體ヲ保護スベキモノハ唯一ノ
尾アルノミ

第二綱 禽類

鳥類 鳥體ノ造構ハ人類及獸類ノ造構ニ比ス
レバ全ク特異ナル所甚多レ今茲ニ其著ルク異
リタル一例ヲ舉ケン鳥類ハ毛ヲ被ラズレテ因

第五百四圖



鳥ノ骸骨

ニ塗抹スト云フ水鳥ハ特ニ此油ヲ含蓄スルコト甚多クシテ之カ爲ニ其肉ニ臭氣アリ蓋水鳥

ヲ覆ヘリ思フニ鳥羽ト獸毛トハ其之ヲ生養スルノ法方同一ナラザラシ鳥類ハ空氣ノ損害ヲ禦ク爲ニ體中自ラ一種固有ノ油ヲ含蓄スル腺ヲ具有シ往々嘴ヲ以テ此油ヲ搾出シ之ヲ其羽

ノ羽ハ此油アルカ爲ニ水ノ滲浸ヲ充分ニ防禦シ得ル者ナラシ鳥ノ翼ハ甚強壯ナリ鵠ノ鼓翼ハ人脚ヲ折傷ス可ク鷺ノ鼓翼ハ直ニ人體ヲ擊殺ス可シト云フ鳥類ノ視官ハ非常銳敏ニシテ耳ハ輪廓ナク只二個ノ小孔アルノミ然レドモ善ク聲音ヲ聽取スベク思ハル嗅官モ亦銳利ニシテ或ハ極メテ密ナルモノアリ故ニ水鳥ヲ捕ルノ係蹄ヲ護守スル人ハ泥炭ヲ燃シテ之ヲ提携ス其故ハ炭臭ヲ以テ人臭ヲ薰却シ水鳥ヨリテ飛去ラサレシ

第五百五圖



鳥羽

メンガガ爲ナリ總ベテ鳥類ノ聲ハ他ノ動物ノ聲ヨリモ大小ノ比例ニヨレバ高調ナル者ナリ鳥ノ脚翼骨及體ノ各部ハ他ノ動物ニ比スンバ甚輕クシテ堅牢且強壯ナリ而レテ其肺臟ハ全ク腹中ニ膨脹スベキ者トス今茲ニ禽類ト哺乳動物トヲ比較スルトキハ著ルク異ナル事件アリ甲ハ其子ヲ卵生シ乙ハ其子ヲ胎生ス禽鳥ハ卵生ナルガ故ニ巢ヲ造リ以テ卵ヲ其中ニ置キ大概ハ其雛ヲ慈愛撫育スルノ情深キモノナリ

同種鳥類ノ巢窩ヲ造構スルハ大概一樣ナリト雖モ必同一ノ物料ヲ以テ之ヲ造ルニ非ズ英蘭ノ某所ニハ榭樹甚多レテ知更雀ハ常ニ其樹葉ヲ以テ巢窩ヲ造レドモ他ノ處所ニ在テ、苔類或ハ毛ヲ以テ之ヲ造ルト云フ又數多ノ卵ヲ産スル鳥類ハ温暖ナル巢ヲ造ルコトヲ緊要トス故ニ巧婦鳥ハ小鳥ニレテ巢モ亦甚小ナレドモ

鳥類學
鳥類學
鳥類學

第五百六圖



ソレエーフル、ウエーグセルノ巢

レテ纒ニ三顆ノ卵ノ生ズル信鳥チドリ和ワレ鷺鳥カラス等ハ巢

數多ノ
卵ヲ産
スル爲
ニ其巢
窩ヲ太
ガ温暖
ニ造ル
者ナリ
之ニ反

ヲ温暖スルスコトニ意ヲ留メズト云々具々
 駝鳥ハ巢ヲ造ノズレテ卵ヲ砂中ニ放置レ又喜
 望峰ニ産スルソレユール、空一ル一致レメ
 義ハ各自一其巢ヲ造構セズレテ蛇類及獼猴ノ
 災害ヲ防禦センカ爲ニ互ニ同盟シ皮ヲ去リテ
 滑ナル樹木ノ上ニ傘狀ノ結合シタル巢窩ヲ造
 ルト云フ又尋常支那ニ於テ用ル一種ノ燕窩ハ
 魚膠ニ類似セル粘質ノ物ヲ以テ其巢窩ヲ造構
 スルナリ
 支那ノ美食家ハ此燕窩ヲ以テ美味ノ者トシ羨

博物志 卷之六 三三 支那

博物志卷之六

第五百七圖



扇尾鳥
ミシテイルワケル

因リテ此巢ヲ獲ル處ノ入ハ甚レキ危險ヲ侵ス
ト云フ又長尾ノ白頰鳥ハ頂上ニ小孔ヲ具ソタ

ヲ煮造ニテ
之ヲ嗜食ス
故ニ其價甚
騰貴ナリ此
燕ハ海濱ニ
在ル深育ノ
洞穴中ニ巢
窩ヲ構ルニ

卵形ノ巢窩ヲ造構シ雨ヲ防ク爲メ羽ヲ以テ
小孔ヲ蓋ヒ又常ニ青色ノ苔ヲ以テ更ニ之ヲ被
覆スト云フ扇尾鳥ハ繁茂セル蘆中ニ於テ水面
ヨリ大兄一尺許ノ處ニ其巢ヲ構フル者ナリ

第五百八圖



裁縫鳥ノ巢
テイルビル

裁縫鳥ハ印度ノ小鳥ニ
シテ蛇ノ到ルコト能ハ
ザル樹梢ニ巢ヲ構フ蓋
此鳥ノ巢ヲ營ムハ先巧
ニ數葉ヲ縫ヒ付ケ之ヲ
以テ其内部ヲ造ルト云

博物志卷之六

三十四

文部省

博物志卷之六

茲ニ遷徙鳥ト名ヅケテ栖地ヲ移轉シ地球各所
ニ游徙スル禽鳥許多アリ然レドモ大概各地ノ
氣候ニ應ジテ其土地固有ノ鳥類アルモノナリ
蓋遷徙鳥ノ地ヲ秋スハ氣候食物或ハ其恐怖等
ノ事故ニ因リテ之ヲ爲スノ他更ニ奇トスバキ
コトナレ米國ニテハ遷徙鳥ノ来ルコト春秋
トニブリ春天始メテ到着スル鳥類ハ煖國ヨリ
轉徙スルモノニレテ秋天ニ至レバ則歸去ル又
秋天始メテ渡來スル鳥ハ寒國ヨリ移ルモノニ

レテ春天ニ至レバ則去リテ他邦ニ行ク斯ク轉
住ノ年々地ヲ移スニ就テ奇異トスベキノ一ハ
數年間同レ巢窠ニ歸リ來ルコトアリ跛ナル一
隻ノ鵓星斑頭斜ナリハ八年間一樹ノ窩中ニアル
巢窠ヲ占有スルヲ見ント云フ
鳥類ハ大概長壽ニシテ鵓ハクマハ百年ノ齡ヲ延ベ食
肉鳥類特ニ鷲ハ甚長壽ヲ保チ鵓モ亦百年餘生
存レイソノコ鸚哥ハ六十乃至八十年ノ齡ニ達スト云フ
鳥類ノ飛行ハ甚迅速ニシテ野生ノ鵓ハクマハ六時間
ニ三百乃至四百里ヲ飛翔スル者ナリ

禽鳥ノ種類ハ甚夥多ニシテ總計大凡八百トリ
記者此鳥類ヲ記載スルニハ先學問上ニ用ヰル
ベキ鳥體ノ著ルキ局部ノ名稱ヲ認知スルヲ以
テ最便利トス故ニ前圖ニ依テ左ノ數語ヲ記憶
スベシ

第五百九圖



鳥體局部ノ名稱

- ①符ハ耳蓋羽 ②ハ擬翼 ③ハ
- 小蓋羽 ④ハ中蓋羽 ⑤ハ大蓋
- 羽 ⑥ハ本羽 ⑦ハ肩 ⑧ハ或羽
- ⑨ハ項 ⑩ハ尾下蓋羽 此圖
- ラハ見エ難シ ⑪ハ脚即尾上

蓋羽等ナリ

禽類分類法

クダール氏禽類ノ網ヲ分チテ六目ト爲ス即左
ノ如シ

○第一目 鷲鳥類

○第二目 雀類

○第三目 綠木類

○第四目 鷄類

○第五目 長脚類

是ナリ
「タナゼ」畫眉、ウルクズ
是ナリ

啄木鳥、杜鵑、鸚哥等是ナリ
孔雀、雉、鴉、鴿等是ナリ
駝鳥、信鳥、鷺、鶴等是ナリ

○第六目 鷲類、鷲等是ナリ

禽類網

第一目 鷲鳥類

秃鷲 ガルモール 此鳥ハ群居スル鳥類ノ一屬ニシテ通常
暖國ニ産シ腐肉、小鳥、爬蟲類ヲ食フ其性懶惰ニ

第六百圖



秃鷲

シテ形體醜ク臭氣
アリニ運動活潑ナ
ズ頸ニ羽ナクシ
テ頭ハ小ナリ亞米
利加産ニテ此種ノ

主眼ニ北極ノ公佻兒、加里福尼秃鷲、亞秃鷲、屍

鷲、黑色秃鷲等ナリ而シテ屍鷲、黑色秃鷲ノ二種

ハ只合衆國ノ人ニ産スルモノナリ

公佻兒、此鳥ハ安地斯山ニ産スル大秃鷲ニシ

テ羽色帯黒、頭ト頸トハ羽ヲ被ラズレテ皺縮シ

タル硬皮ヲ具シ頭頂ニハ稍長方形ノ鶏冠ヲ戴

キ頸ノ周圍ニハ襞積ノ風領ニ似タル白羽アリ

此鳥ハ亞米利加ノ大陸ヲ縱斷セル安地斯ノ山

脈中ニ普ク棲息シ秃鷲種中ノ最大ナルモノニ

シテ身ノ長廿三尺許左翼ノ端ヨリ右翼ノ端マ

ヲ長サ八尺乃至九尺アリ且此鳥ハ四時雪ヲ戴
ケル高山近傍ノ絶巖上ニ棲息スト云フ
公使兒ノ習慣ハ鷲ノ如ク猛烈ニシテ且秃鷲ノ
如ク厭惡スベキ弊アリ又常ニ秃鷲ト同ク好ミ
テ死體ノ腐肉ヲ食フト雖凡或ハ時ニ獸類トモ
闘フモノナリ此鳥ニ隻相會ニ亞米利加獅小牛
等ヲ襲ヒ或ハ充分成長ニタル牛ヲ襲フト往
々之アリ或ハ又衰瘠ニタル獸類ヲ追襲シ其死
ニ至ル迄嘴及爪ヲ以テ間斷ナク之ヲ抓撻スト
ハノ亞米利加ノ土人ハ餌ヲ與ヘ腹ニ飽カシメ

而後係蹄ヲ以テ此鳥ヲ捕メ此獵ハ土人ノ最モ
愛耽スル處ト云フ或ハ曰フ此鳥ハ幼ク孩子ヲ
攫ミ去ルト其說甚信レ難シ
屍鷲 此鳥ハ夥シク亞米利加ニ産レ好ミテ煖
地ニ棲息ス熱帶地方ノ國ニテハ法制ヲ立テ掃
街者ノ如ク此鳥ヲ保護スト云フ斯ク保護ヲ爲
ス所以ハ此鳥大ニ塵芥腐肉等ノ穢物ヲ食フヲ
以テナリ又此鳥ハ人ノ保護ヲ蒙ルコトヲ了解
セル者ノ如ク南亞米利加ノ市街ニ在テハ屢掃
除車ノ後ニ追從飛翔スルヲ見レコトアリ又温

博物志 卷之六 三六一 文部省

煖ヲ好ミテ家屋ノ烟筒ヨリ出ル煖氣ヲ受ケン
ガ爲ニ終夜屋上ニ宿スルコトアリ其身ノ長ハ
二尺五寸許帶褐黒色ニシテ沼池ニ巢ヲ構ヘ時
々黒色禿鷲ト交遊スルヲ見ルコトアリ
王禿鷲キング・ダウラー此鳥ハ美麗ニシテ羽ハ帶赤白色翼ト
尾トハ黒色ナリ亞米利加熱帶地方ニ棲息ス加
里福尼禿鷲ハ黒色ニシテ大ニ殆ト公コ喉ノ兒ル
如ク黒色禿鷲ハ其習慣屍鵑ニ類似スレドモ之
ニ比スレバ稍小ニシテ全羽黒色能ク人ノ認知
セルモノナリ常ニ群居集聚シ時トシテハ死體

ノ周邊ニ二百餘隻モ相集ルコトアリ
外國産禿鷲種中ニハ金色禿鷲ゴングン・ダウラーアリホシ禿鷲クレス・ル親
睦禿鷲等アリ此種ハ皆醜體ナレドモ腐肉ヲ食
スル爲ニ熱帶地方ノ國ニ在リテハ甚有用ノモ
ノナリ若此鳥トカリセバ彼腐肉ヨリ蔓延スル
處ノ傳染病ヲ醸出ス可シ且此鳥ノ視官ハ甚銳
利ニシテ數里外ヨリ喜ク死體ヲ諦視ス亞非利
加ニ旅行セン人ノ説ニ此地方ニテ野ニ斃獸ア
レバ則此鳥人目ノ達セザル遙處ニ飛翔ストモ
直ニ斃獸ヲ認知シ四方ヨリ群飛シ來テ之ヲ食

ヲ攫ミ或ハ攫ミ去リ常ニ群居スル者ニ非ズ唯

第六百二圖



旋鷹

隙ニ棲息ス其食ハニト欲スル動物ヲ獲ヒ且ツ
捕フムコト甚巧捷ナリ總ベニ此種ハ皆放鷹ニ
隼 此鳥ハ其種數多ニシテ
皆活動物ヲ餌食シ巖石ニ罅
又羽毛ハ氣候ニ因リテ變換
ヲ爲フト云ノ
種ノ特ニ大ナルモノハ甚高
ク上昇シ其視官最銳利ナリ
又羽毛ハ氣候ニ因リテ變換
ヲ爲フト云ノ
雌雄相共ニ棲息スルノミ此
種ノ特ニ大ナルモノハ甚高
ク上昇シ其視官最銳利ナリ
又羽毛ハ氣候ニ因リテ變換
ヲ爲フト云ノ

第六百三圖



大脚鷹

尋常遍歷鷹即速鷹

使用シテ功ヲ奏スト云フ
旋鷹ハ白色ニシテ褐色帶
狀ノ斑點アリ身ノ長サ大
凡二尺許兩大陸ノ北方ナ
ル寒帶地方ニ棲息ス此鳥
ハ驚ニ次テ勇悍敏捷最モ
驚怖スベキ者ニシテ往古
ハ放鷹ノ爲ニ甚之ヲ貴重
ヒリト云フ
此鳥ハ歐羅巴及亞米利加

ニ在テ尋常ノ者ナリ亞米利加ニテハ捕鴨鷹或
 ハ大脚鷹ト稱レ善ク世人ノ認知セルモノニシ
ヒクファーストハルコン
 テ帶褐黑色身ノ長サ大凡一尺六寸許性强暴ニ
 レテ大鳥ヲ襲ヒ直ニ之ヲ攫ミ去ルト云フ又昔
 時ハ之ヲ放鷹ニ供シ甚貴重シテテレルレル、ゼン
 タイイルノ別稱アリタリ長翅鷹、鵠鷗、捕雀鷹、弋鷹
 等ハ歐羅巴ニ産スル鷹種ノ小ナルモノニシテ
 鳥鼯鼠蛙等ヲ餌食スル
 鷹 此鳥類ハ羽族中ノ最モ強勁ナルモノニシ
 テ飛翔迅速善ク餌食スルキ動物ヲ追逐シ爪ヲ

奮テ之ヲ攫殺シ又之ヲ數片ニ抓裂ス其最人ナ
 ル種ハ四足獸、鳥類、爬蟲類ヲ攫ミ去ルト云フ此
 鳥類ノ視官ハ甚銳利ナレドモ嗅官ハ不充分ニ
 レテ大概山地ニ棲息ス
 鷹ノ種ハ數多アリ其主眼ナル者ハ東大陸ニ棲
 息スル帝鷹兩大陸ニ棲息スル金色鷹即環尾鷹
イロハシキハルコン
 北亞米利加ニ棲息スル華威頓鷹歐羅巴ニ棲息
ホルデンエーグル
 スル海鷹等ナリ其他尚世界ノ各所ニ棲息スル
イロハシキハルコン
 者數多アレドモ皆猛悍強暴ノ性ヲ具有セリ又
 白頭鷹ハ亞米利加合衆國ノ表號ニ用キル者ナ
ハルド、チタル

第四百六圖



鷲類

リ南亞米利加ニ
産スル大怪鷲ハ
大鳥ニシテ嘴ノ
以テ人ノ頂骨ヲ
劈裂スベキ強力
アリ常食ハ專魚

類ナレドモ屢樹懶及獼猴ヲ擒テ之ヲ餌食シ或
ハ甚恐怖スヘキ動物ヲモ食フ者ナリ此鳥ハ鷲
種中ノ最第一ニシテ恐クハ又禽鳥類中ノ至強
最勁ナルモノナリ

鷲即魚鷹オスホーク此鳥ハ歐羅巴及亞米利加島棲息シ
鷲ト親交ナル猛鳥ニシテ魚類ヲ餌食ス其魚類
ヲ捉ワルニハ空中ヨリ箭ノ如ク迅速ニ翔降シ
テ直ニ之ヲ攫食ス又幽寂ナル高キ地方ニ巢ヲ
構ヘ高サ四尺乃至五尺許ノ枝ヲ集メテ之ヲ造
リ覆フニ莖クマ「ミルリン」名 枯草等ヲ以テシ一巢中
ニ數隻相共ニ棲息ス「モントウ、ホイント」地名ノ近
傍ニ在ル一島中ニハ此鳥ノ巢窩三百個以上ア
リト云フ

鷲カト 此鳥ノ屬ハ亞米利加ニ産セザレドモ東大

第六百五圖



鷹

陸ニハ其種二三個アリ且此鳥屬ハ隼ノ種ニ列スルモノニシテ世人ハ能ク鷹ト誤認スレドモ此鳥屬ハ一種固有ノ飛翔ヲ爲ス者ナリ其食ハント欲スル家兔、栗鼠、鼯鼠等ヲ搜索レ得ナルトキハ蝦蟆及蜥蜴ヲ食ヒ或ハ時トシテ腐肉ヲ食フ又米西悉比鳥ハ真ニ鷹ノ一種ナリ

此鳥ハ歐羅巴及亞米利加ニ棲息スルモ

ノニシテ其種數多アリ此鳥類ハ小鳥、家兔、兎、蛙、野鼯鼠等ノ食フ其性皆遲鈍怠惰ニシテ殆ト終日一枝上ニ止ルト云フ又此鳥類ハ頗ル能ク集種ニ類似シ

羽脚鵓鵒ハ身ノ長サ二尺許ニシテ

第六百六圖



尾鵓鵒

歐羅巴及北亞米利加ニ棲息ス

黑色鵓鵒ハ濱西注ニ棲息ス

短翼鵓鵒、赤色尾鵓鵒、廣翼鵓鵒等亞米利加ニ産スル

鵓鵒種ナリ又歐羅巴ニ産スル

蜜蜂鵓鵒ハ專ラ蜜蜂ヲ食

十
羽
學
初
六

ヒ南亞米利加ニ産スル 屍鵝、黒色鵝、皆禿

鷺ノ屬ナリ

沼鷺屬 此鳥類ハ梟ノ如ク面ノ周邊ニ硬キ輪

狀ノ羽ヲ具スルニ因リテ鵝、鵝ト區別ス其性勇

猛敏捷ニシテ爬蟲、鼯鼠、魚類、鳥類ヲ食フ爲ニ池

沼ノ畔ニ在リテ光陰ヲ送ルト云フ此鳥類亞米

利加ニ棲息スル者數種アリ歐羅巴ニ産スルモ

ノモ亦二三種アリ

捕鷺鷹即沼鷺、亞米利加及歐羅巴、亞非利加ニ

尋常ノモ、身ノ長サ二尺二寸許稍藍色

ヲ帶ルル灰色ナリ屢開豁平低、濕地ニ來リ鼯

鼠、蜥蜴及蛙類ヲ搜索シテ之ヲ攫ミ去ルト云フ

此鳥ハ鷄類ヲ奪ヒ去ルニ因リテ之ヲ捕鷺鷹ト

名ツク歐羅巴ニ産スルモノハ英國ノ濕地ヲ除

クノ外甚夥多ナラス此鳥ノ大サハ前ニ記載シ

タル沼鷺ト同一ニシテ褐色ナリ

梟 此鳥ノ屬ハ晝間其食物ヲ搜索シ得ベシト

雖ハ大概ハ夜間ニ餌食ス其體ニハ柔軟ナル

様ノ羽七ヲ被レリ故ニ音響ナクシテ飛翔シ得

ヘシ此鳥類ハ常ニ其爪ヲ以テ餌食スベキ物ヲ

博物學 卷六 三五 文部省

數度相集テ野獸ノ叫號ニ類似セル哀聲ヲ發ス
ルニ因リ其聲林中ニ滿ツト云フ

第二目 雀類

此目ハ甚廣大ノモノユレテ形體大小習作等ニ
於テ多少異リタル數種ノ鳥類ヲ包有ス此目中
ハ鳥類ハ鷲鳥類ノ如キ暴烈ノ性ヲ具セズ又他
ノ鳥類ノ如ク食物ハ特種ノ物ヲ撰食セズレテ
多クハ蟲類果實穀物等ヲ食フ此目ニ屬スル禽
鳥ハ大概啣轉スル鳥類ナリ當時ノ博物學家ハ
之ヲ種々ニ區分スレドモ吾輩ハクブーリル氏ノ

分類法ニ從フヲ以テ最良トス

伯勞屬 此屬ハ其種數多アリテ皆堅牢ナル鉤

狀ノ嘴ヲ具ス此嘴ハ其食フバキ蟲類ヲ斃キ或

ハ小鳥ヲ襲フコトノ用ニ供スルモノナリ

此鳥屬ハ其鳴クニ哀然タル美音ヲ發シ又他ノ

鳥類ノ啼聲ヲ擬似シテ宇内ノ各所ニ棲息スル

モノナリ其種中ニテ最モ著名ナルモノハ歐羅

巴産ノ大殺戮鳥ニ肖タル大亞米利加伯勞是

大亞米利加伯勞ハ亞米利加ノ北部ニ棲息スル

第六百八圖



大亞米利加伯勞
大亞米利加伯勞

者ニシテ身長サハ寸許羽ハ
 板石色ニシテ翼ハ黑色ナリ
 此鳥ハ奇異ナル習作アリテ
 其餌食ヲ木ノ刺上ニ貫串シ
 其食ヒ得ベキ量ヨリモ多ノ
 モノヲ屢殺害ヌ又此鳥ハ勇
 豪ニシテ籠中ノ鳥類ヲ搜索
 セシム欲シ室内時進入スル
 ト云フ此鳥伯勞ノ前種ニ類
 似シ身長サ九寸許ニシテ性怯怖ナリ此鳥一尺

合衆國ノ暖地ニ棲息スルハ此鳥ハ國內ハ外國トモニ其種
 捉蠅鳥屬 此鳥ノ屬ハ國內ハ外國トモニ其種
 類甚多シ夏間ハ蠅、蛾及翼アル小蟲類ヲ食ヒ秋
 間ハ草木ノ子實ヲ食フ此鳥屬ハ其巢ノ近傍ニ
 兇暴ナル鷲鳥類ノ來ル時之ヲ追逐スル形狀ハ
 敏捷勇猛ニシテ甚苛刻ナリト云フ此屬ノ種中
 ニ在テ最モ著ルキモノハ亞米利加産ノ暴虐捉
 蠅鳥即王鳥「バケ」即「ホーデビルド」チライ
 「等是ナリ」
 王鳥即暴虐捉蠅鳥 此鳥ハ性劇烈ニシテ争鬪

鳥類考 卷六

文部省

ヲ好ミ身長サ八寸許ナリ氣候温暖ナル間ハ合
 衆國ノ各所ニ棲息シ常ニ^草ルリ^名ノ莖端或
 ハ枯槁ニ^ル樹枝ノ尖端ニ^ト往々近傍ヲ經
 過スル蜂及蠅ヲ逐攪スルコト之アリ此鳥ハ凡
 ハ^ノ翼ヲ具セル諸種ノ小蟲並ニ各種ノ子實ヲ
 食ヒ其啼聲ハ恰モ數個ノ鱗ノ互ニ相觸ル^ノ響
 ノ如シ常ニ其巢ノ近傍ニ來ル各種ノ禽鳥ヲ襲
 キ又時^トレ^テ鷹或ハ鳥ヲ追ヒテ^一里ノ距離
 ヲ飛翔スト云^フ此鳥ノ他鳥ヲ襲フコトハ猛烈
 狡猾ニ^シテ常ニ其頭部ニ在リ特ニ^ニ鴉ハ此鳥ヲ

掃ヒ落サント欲シ苦ステ地上ニ落ルコト往々
 之アリ^ニ其種類三四種アリ
 連雀^{和名}此美麗ナル鳥ハ其種類三四種アリ
 ハ亞米利加ノ^ニ棲息シ一ハ兩大陸ノ數所ニ
 在テ尋常ノモノトシ一ハ日本固有ノ種ナリ
 封蠟連雀^{ワキセン、チヤツトレ}此鳥ハ兩大陸ニ棲息レテ形狀及習
 作ハ^{シタヒト}栢鳥ニ類似シ其性並ニ
 餌食モ亦之ト同シク善ク親
 睦慈愛ノ情ヲ有シ常ニ^{岩石}ナ
 山ノ近傍ニ棲息スルモノナ



第六百九十九圖

封蠟連雀

博物志 卷六 三十九 文部省

十才鳥 九才鳥

栢鳥即櫻桃鳥

此美麗ナル鳥ハ身長サ八寸許

羽ハ帶褐灰色ニシテ頭上ニ高キ毛冠アリ尾端

ハ黄色ニシテ翼羽ニハ封蠟ニ類スル朱色ノ小

斑點アリ此鳥ハ北亞米利加全州ニ棲息スルモ

ノニシテ時トシテハ南亞米利加カイオン島ノ

林中ニ漂泊スルコトアリト云フ

此鳥

ハ果實ヲ食ヒ小蟲類ヲ食ヒテ屢一樹

上ニ十隻乃至十二隻群集シ其運動スル形狀ハ

互ニ相親ハノ情アリ又此鳥ハ一名加拿仲知更

雀ト稱スルニシテ其羽ハ絹ノ如ク柔軟ナ

ルニトシテ性ノ温和清潔ナルコト、互ニ相親、

ノ深情アルコト、ニ因リテ甚有名ノモトナリ

且其肉ハ甚高價ナリト云フ

「タナゼル」此鳥ハ亞米利加産鳥類ノ一屬ニ

シ其棲息スル所ハ多ク熱帶地方ニ限レリ此鳥

ハ性敏捷ニシテ屢林中ニ小集棲息シ樹間ニ巢

ヲ構ヘ種子小蟲類及子實ヲ食ヒ其飛翔スルコ

ト甚迅速ニシテ地上ニ下ルコトハ殆ト稀ナリ

深紅色タナゼル」此鳥ハ身長サ六寸五分許羽

博物志 卷六 罕

光澤アル深紅色ニシテ尾ハ黑色ナリ性怯懦
交通ヲナサバ、ルモノ一レテ人ノ住家ニ近ツク
コト甚稀ナリ其巢窩ヲ構造スルハ多ク林中水
平ノ枝上ナリト云フ合衆國南部ノ諸州一於テ
ハ此鳥太尋常ノモノナリ

夏時紅色鳥 此鳥ハ光澤アル紅色ニシテ身長
サ六寸許其習作ハ深紅色「タナベル」ニ似タリ魯
西安納「タナベル」ハ屢米蘇利平原ニ來游シテ
身長サ六寸五分許羽ハ帶黃黑色ナリ
畫眉屬 此鳥屬ハ林藪蘆葦菓木園ノ中ニ棲息

レテ其數甚夥レ此屬ハ大抵皆獨住ノ巢窩ヲ造
構スレトモ其雛ヲ産スル時ハ雌雄相共ニ棲息
レテ之ヲ撫育スト云フ又此屬ハ數多ノ群ヲナ
シテ遷移スルモノアリ或ハ暖國ニ止留スレモ
ノアリテ小蟲類、蟲類子實等ヲ餌食ニ啼聲ハ頗
美音ヲ發レ肉ハ割烹ノ用ニ供レテ甚貴重スベ
キ者ナリ蓋此屬ハ常ニヂムシ蟻グムシ蟻イミシ等ヲ殺害スル
ニ因リテ農夫ノ裨益ヲナスコト少カラズ又外
國ニ産スル畫眉種ノ主眼ナル者ハ「ミヤル」畫眉
「ヒールドハル」トロスル「赤翼畫眉」ヒールドハル「オーゼ

鳥類考 卷六

文部省

ル、黑色畫眉、藍色畫眉等ニシテ、亞米利加産ノ王

眼ナル種ハ、嘲笑鳥、褐色畫眉、即打禾者此鳥ノ喙

ニ劣ル、モッキンダ、ビルド、フロオン、スラッレト云フ、ハミリヤル、ロビン親交知更雀

單身畫眉、即退林畫眉、羽色及轉聲ノハミリヤル、ロビン鶯鵲ト類似

セル、小隱者畫眉、維孫畫眉、水畫眉等ナリ

嘲笑鳥、我、白頭鳥、モッキンダ、ビルド此鳥ハ畫眉ノ一種ニシテ、亞

米利加ノ暖地ニ棲息ス、此有名ナル鳥ハ身長サ

九寸五分許羽、灰色ニシテ鮮麗ノモノハ稀少

ナレドモ其態貌美艷ニシテ體格能ク之ニ稱ノ

其運動ハ輕捷ニシテ温雅相貌モ亦頗銳毅ナリ

又此鳥ハ善ク各種ノ聲音ヲ諦聽シ或ハ諸鳥ノ

啼聲ヲ精密ニ倣擬スト云フ

此鳥ノ斯ク啼聲ヲ倣擬スル間ハ他ノ諸鳥其周

邊ニ集リテ我々啼聲ト彼啼聲トハ孰カ巧ナル乎

ヲ試鳴スル者カ如ク想ハル蓋倣擬ヲナスコト

ハ甚巧ニシテ獵師モ或ハ欺カシテ其所ニ居ラ

サル鳥ヲ搜索スルコト種々之アリト云フ實ニ

此鳥ハ林中ニテ音樂ノ臣マイロシナリ其故ハ啼聲頗

野調ナル鳥ノ擬鳴ヲ爲ストキ其音調中ニ温和

ナル好音ニ混スルヲ以テ真鳥ハ之カ爲ニ黙止

博物考 卷六 四十二 文部省

鳥學 卷六

驚駭シテ却テ此鳥ノ啼聲ヲ聽聞ハルニ至ルト云フ

嘲笑鳥ハ藪叢或ハ樹木中ニ於テ小枝木葉草等

第 一 百 圖



嘲笑鳥其巢ヲ襲フ鳥ヲ防ク

ヲ以テ其巢ヲ構造シ善ク其雛ヲ注意撫育フル者ニシテ人若シクハ猫犬等其巢ニ近接スルトニハ彼直ニ之ヲ襲フ

就中其死生ニ關スハキ仇敵ハ鳥蛇ナリ其雄鳥此蛇ヲ見レバ即時突然襲撃レテ間斷ナク蛇ノ眼目及頭顱ヲ刺衝シ速ニ此狡猾ナル仇敵ヲ擯除シ其愛雛ヲ保護セシ巢上ニ返テ凱旋ヲ表スル開聲如ク最モ高調ノ啼聲ヲ發スル者ナリ此愛フハキ鳥ハ實ニ馴レ易クシテ其飼主ニハ善ク親狎シ籠中ヨリ嘴ヲ出シテ飼主ニ戯シ且籠内ヲ以テ其生出レタル林間ノ如ク思ヒ栩栩然トシテ得意ニ眠食シ上下左右ヲ飛廻リテ鳴キ且轉ス然レドモ籠内ニ在リテ往々明ヲ失ヒ

事物紀原 卷六 三

遂ニ死スルコトヲ顧想スレバ實ニ憫ムベキノ
 至ナリ蓋此鳥聾盲トナレハ鬱悶衰弱レテ啼聲
 ノ發セフ旋テ直ニ死スル者ナリ且此鳥ノ價ハ
 通常五弗乃至五十弗ナレトモ其非常ニ善ク轉
 スル者ハ百弗ノ價ニ至ルト云フ
 亞米利加知更雀 可憐ナル此鳥ハ畫眉ノ一種
 ニレテ北亞米利加ニ普ク棲息シ身長サ九寸五
 分許七部ハ帶黑暗灰色下部ハ帶黑赤色ナリ此
 鳥四月ニ至レバ新英蘭ニ來ル蓋此地方ニ於テ
 ハ音樂合奏ノ爲メ招待レタル前彈人ト如ク持

第七百一副



亞米利加知更雀
 アノリカン
 アノリカン

中ノ小鳥ノリ

川鳥カハタリ和名小鳥ノ名ニレ
 テ鳥ノ類ニ非ス

此鳥ハ歐羅巴産ノ一

ニ此鳥ヲ優待スト云フ又此
 鳥ハ園中ノ草葉樹或ハ木葉
 枯草多キ樹林中ニ巢ヲ造リ
 百方注意レテ育雛ヲ撫育ス
 若驚愕スルトキハ鋭キ高聲
 ヲ發スレドモ其他ハ甚愉快
 ナル好音ヲ發ス英國知更雀
 即紅胸鳥ベニキリスハハルブレル雀類
 鳥類

鳥ニレテ水中ニ生スル小蟲類ヲ餌食シ體ノ造
構陸鳥ノ如クナレトモ身ヲ水中ニ没シ容易
ニ水底ヲ歩ム其身長サハ七寸許ナリ

黒色畫眉 畫眉ノ一種ナリ此鳥ハ可憐ナル美
聲ヲ發シテ歐羅巴及亞細亞ノ温帶地方ニ棲息

シ言テ屢英蘭及蘇格蘭ノ詩人ノ爲ニ記載セ
ン者ナリ其羽ハ黒色眼邊ニハ環狀ノ黄色アリ
リテ身長ハ九寸許ナリ

黄鶯 此名ノ鳥類ハ數種アリ乃歐羅巴産ノ
金色黄鶯亞細亞産ノ數種合衆國産ノバルチモ

ハ黄鶯即菓木園黄鶯南亞米利加産ノ數種等
是ナリ右數種ハ互ニ皆相肖タリ且近世ノ博物

家ハ亞米利加産黄鶯屬ノ以テ外國産ノ者トハ
別屬ニ列スレドモ斯事實ニ詳明ナルミスト

オットー氏ハ之ヲトロビアルスト考定セリ歐
羅巴産ノ金色黄鶯ハ身長サ一尺許ニシテ光澤

アル黄色ナリバルチモル黄鶯ハ身長ハ七寸
許帶黒黄色ナリ此鳥ハ精巧ナル袋状ノ巢ヲ造

リテ之ヲ榆或ハ他樹ノ極端ニ附着スト云フ
バルチモル黄鶯ハ白色ノ斑點ヲ帯ヒタル卵

子ヲ其巢裏ニ四五顆放在ス暴風此巢ヲ蕩搖ス
ルモ卵及雛ハ吊床ノ如ク安全ニ巢中ニ鞅懸ヒ
リ又鳥蛇ハ此鳥ノ餌食ノ事ムル間ニ其卵及雛
ノ食ント欲スレトモ巢裏ニ毫スルコト能ハズ
頑童亦其巢ヲ奪ハント欲スレドモ高處ニ之ヲ
構フル故ニ攀上レテ之ヲ取り得ルコト能ハズ
菓木園黃鶯ハ大ニバルチモハルチモ黄鶯ニ肖テ同
鳥ト誤認スルコト往々之アリト云フ
亞米利加黑色畫眉屬此鳥屬中最モ尋常ノ者
ハ鳥様黑色畫眉即紫色グレッケルナリ此鳥ハ往

々無數ニ群集スルコトアリテ夏間ハ合衆國ノ
菓木園中ニ棲息シ冬天ニ至レバ去リテ南方諸
國ニ行ク其群集セシモノ一齊ニ飛起スル時ハ
鼓翼ノ響恰モ雷聲ノ如シ又此鳥脱葉シタル樹
木ニ無數群止スルトキハ猶禿樹ノ黒衣ヲ着シ
タルカ如ク且其聲音ハ遠隔飛瀑ノ響ニ彷彿タ
リ而シテ此鳥ハ播穀ノ時ニ方リテ大ニ田土ノ
殘害スル者ナリ赤翼黑色畫眉ハ亞米利加黑色
畫眉ト別屬ナレドモ屢鳥様黑色畫眉及牧牛黒
色畫眉ト交遊スト云フキビルドキビルド氏ハ赤翼黑色

畫眉ヲ鷓鴣ト稱スレドモ恐クハトロピアルス
ニ屬スル者ナラン其羽ハ黑色ニレテ肩ヒニ光
澤アル赤色ノ斑點アリ

豎琴鳥 此鳥ハ新和蘭ノ奇鳥ニレテ尾形ハ愛
耳蘭ノ豎琴ニ似タリ故ニ之ヲ琴尾鳥ト名ヅク

此鳥ハ家禽類ニ類似セル所アリテ大ニ雉ノ如
ク林中ニ棲息シ羽ハ帶灰褐色ニレテ其食ハ思

ノニ小蟲類ナラン其豎琴狀ノ尾ヲ具レテ行步
スル雄禽ノ形狀ハ實ニ珍奇ト謂フ、キナリ而

シテ其習作ニ至リテハ之ヲ認知スル者甚々ナ
ク

コレブレレト 此屬ハ甚夥多ニレテ普ク世界中
ニ散布セリ其鳥種ハ大概鎮靜ナラザル小鳥ニ
シテ敏捷活潑多クハ樹

第七百二圖



盧轉鳥

林叢藪ニ居住シ或ハ沼
池ニ棲息スル者アリ夏
間ハ小蟲類ヲ食ヒ秋冬
ハ多ク子實ヲ食フ此鳥
種中ノ最モ著ルモノ
ハ歐羅巴産ノ鷓鴣赤胸

鳥類

文部省

知更雀、蘆轉鳥、ホイートル、鶴、巧婦鳥、黒帽轉鳥、
等並ニ亞米利加ニ産スル「ミルナル、ミルナル」ト夏間
黄色鳥、巧婦鳥、藍色鳥、黒色、咽喉、綠色轉鳥等ナリ
其他尚數種アリ

圖三百七第



鶯

鶯、此鳥ハ東大
陸ノ有名ナル者ニシ
テ上部ニ帯赤褐色下
部ニ帯白灰色身長サ
六寸許ナリ其温和ナ
ルト啼聲ノ長キトハ

他ノ諸鳥、夜間他ノ諸
鳥ノ啼キ止ム時ニ方リテ轉聲ヲ發スルニ因リ
テ大ニ快樂ヲ増ス者トス且静閑ナルトキハ此
鳥數週間一樹ニ止マリテ相轉ニ其聲ハ半里ヲ
隔テ聞コルコト往々アリト云フ
鶯、此鳥ハ歐羅巴ニ棲息シ長尾ヲ具シテ絶
エズ運動シ屢河沼及小池ノ邊ニ往來ス佛蘭西
人ハ此鳥ヲ「ラヴァンジーレス」ト名ヅク蓋
婦人ノ洗濯ヲ爲セル河邊ニ屢來ルヲ以テナリ
其飛翔スル間或ハ地上ヲ跳走スル間ニ小蟲類

ヲ捕ヘテ之ヲ餌食ス
「ホイーテル」此鸚鳥ハ歐羅巴ニ産レテ身長サ

第七百四圖



ヨクラスメ
リンドレル
鳥鵲

六寸許林中ニ棲息
レテ鵲鴿ノ如ク絶
エズ其尾ヲ動カス
コトヲ以テ區別ス
鳥鵲ヨクラスメ此鳥ハ歐羅
巴リンドレル北方ニ於テ尋
常ノ者々リ身長サ
四寸許活潑敏捷ニレテ且快樂ナリ緩流水中ニ

生スル蘆梢ニ於テ甚巧ニ巢窩ヲ構造ス云々
戴菊鳥キクイタ和此鳥モ亦歐羅巴ニ棲息レテ英國鳥
類中ノ最小ナル者ナリ椴樹ノ森林及圃場ハ此
鳥ノ最モ愛スル所トス常ニ
小蟲類ヲ食シ且其巢窩ノ美
麗堅固ナルカ爲一者名ナリ
其巢ハ通常落葉松及塵拂狀
ナル松枝ノ尖端ニ構ヘテ内
部ハ柔軟ナル毳毛ノ如キ物
料ヲ以テ被覆レ其床ハ精密

第七百五圖



キクイタ
ボクシクニスニル
戴菊鳥ノ巢

料ヲ以テ被覆レ其床ハ精密

軟和ニシテ甚美麗ナリ

裁縫鳥 此鳥ハ温都斯坦及錫蘭ノ産ニシテ羽

ハ淡黄色身長十三寸五分許ナリ此鳥ハ其畏ル

ベキ仇敵トスル獼猴及蛇類ノ生息ナル國ニ棲

ハカ故ニ宛モ針ト糸トヲ以テ縫合シタル如ク

數多ノ葉ヲ綴テ其内ニ巢ヲ造リ或ハ一葉ノ縁

邊ヲ縫ヒ其内凹ニ巢ヲ構フルコト往々之アリ

其巢窩ノ狀第五百八圖ヲ見テ知ル可シ

巧婦鳥 此鳥類中ニテ最モ尋常ノ種ハ善ク快

樂ナル轉聲ヲ發シテ人ノ熟知セラル小鳥家屋巧

鳥ナリ通例檐下或ハ小舎ノ隅ニ巢ヲ構ス或ハ

小舎ノ隅ニ此鳥ノ爲ニ古帽ヲ放置スルトキハ

巢ヲ其内ニ構フル者ナリ又小蟲類及螟蛉ヲ食

フガ故ニ園丁ノ敵害ヲ戕殺スルコト少ナカフ

ズ且其性争鬪ヲ好ミテ巢傍ニ來ル諸鳥ト戦フ

挑ム者ナリ思フニ此家屋巧婦鳥ノ種ハ歐羅巴

産ノ尋常巧婦鳥ト同種ナルベシ此他尚内國並

ニ外國ニ於テ其種類數多アリ

夏間黄色鳥 此鳥ハ合衆國人ノ能ク認知レテ

其活潑ナルコトハ馴致シ易キコトニ由リテ

貴重スル者ナリ此鳥常ニ陰暗ノ地ニ棲息レテ
 特ニ水楊ヲ愛スル者ノ如レ其啼聲ハ凜然トレ
 テ銳ク其巢内ニ進入レタル者ヲ退ケニガ爲ニ
 倂テ傷ヲ蒙リタル形状ヲナレ彼ヲ怠ラレメテ
 遂ニ逃去ルト云フ又其他ノ種中ニモ常ニ斯ノ
 如キ欺騙ヲ行フ者數多アリ

藍色鳥 此鳥ハ一般ニ最愛セラル、者ニテ身

長七寸五分許羽ハ藍色胸部ハ赤色ナリ合衆國

全州巴哈馬諸鳥 此鳥多ハ此鳥中ニ 墨而哥伯西

爾至阿那等ニ棲息シテ第三月ニ至レバ小舎、巢

木園ノ周邊ニアル舊巢ニ歸リ來リ翼ヲ振シテ

細ト快樂ノ轉聲ヲ反復ス又此鳥ハ小蟲類ヲ餌

食シ特ニ甲蟲及蜘蛛ノ食ヒ十一月ニ至レバ

去リテ南方ニ行ク者ナリ

マナキン 此鳥ハ其種數多アレドモ合衆國中

ニハ絶テ棲息スル者ノク南亞米

利加山中ノ巖窟内ニ居住ス其種

ハ皆美麗ニシテ或ハ光澤アル帶

赤橙色ノモノアリ此鳥種ハ小蟲

類ヲ食ヒ、シメ 鳩ノ如ク雌雄相偕ニ棲



第四百七圖

マナキン

息レテ互ニ愛情アリ其性迅捷ニシテ獵人之ヲ獲ルコト甚難レトス

燕屬 ラ・ロ 此屬ハ數多ノ種ヲ含蓄シテ其種ハ皆飛翔間ニ小蟲類ヲ捕ヘテ之ヲ食ヒ甚遠隔ノ地ニ

第七百七圖



燕

巢窩ノ結構シ各地方ニ棲息ス

遷移レ速一旦久ク飛翔シテ地上ヲ行歩スルコト甚稀ナリ其音調ハ細クレテ震、視カハ甚強レ又此鳥種ハ甚親睦ニシテ同種相集ル小舎烟筒或ハ地上樹上等ニ

紫色燕 スルカイン 此鳥ハ人家ノ近傍ニ巢窩ノ求ムル者ニシテ其人ニ親狎スル習作ト間斷ナク快樂ノ

轉聲ヲ發スルコトニ由リ到處ニ於テ賞愛セラルルニ云フ身長サハ八寸許ニシテ亞米利加洲

固有ノ者ナリ越燕 ヨフツバノ モ亦亞米利加ノ種ニレテ小舎又ハ修築レタル椽上ニ巢ヲ造リ身長ハ七寸

許ナリ歐羅巴亞非利加及亞米利加ニ於テ尋常ナル岸燕 ハチスロウ 即砂燕ハ砂上ノ削壁上ニ數多群聚シ

テ其處一孔穴ヲ穿チ細織ナル枯草並ニ羽毛ヲ以テ其巢ヲ結構ス此岸燕ノ大サハ小舎燕ト同

第七百八圖



岸燕
ハニクス
スワル
フ

スル前ニ屋上或ハ樹林ニ於テ數百隻集合會同
ニ列ニ夜間ニ至テ啓行スト云フ此鳥ノ種ハ外

歐羅巴ノ尋常
烟筒燕ハ非常
ニ遠隔シタル
地方ニ遷移シ
東大陸ノ各所
ニ往來ス此鳥
ハ其地ヲ退去

國及内國トモニ數多アル者ナリ

雨燕 アソウバノ 此鳥ハ燕ニ似タレドモ多ク空中ニ棲息

シ甚高ク飛翔シテ大概ハ夜間ニ餌食ヲナス者

ナリ亞米利加ノ烟筒燕ハ高キ烟筒及空洞ナル

喬木ニ棲息シ其烟筒邊ヲ昇降スル時ノ聲ノ遠

隔ノ雷ノ如シ此鳥ノ種ハ外國ニ數多アリ

第七百九圖



蚊母鳥
カスヒドリ
コイトニシクケル

蚊母鳥屬 カスヒドリ 一名山羊吸者屬 此屬ハ獨居鳥
類ノ一屬ニシテ夜間小蟲類ヲ餌
食シ其耳目口ハ大ニシテ梟ノ如
シ此山羊吸者ナル屬名ハ山羊ノ

乳汁ヲ吸フト云フ妄想ヨリ出タ者ナリ其最

モ著ルキ種ハ亞米利加ノ怪鴟ホイ、フー、ン、奪ル

等ナリ而レテ蕨泉ハ林邊ニ棲息レテ小蟲類ヲ

食ヒ其飛翔スルコト燕ノ如ク巧ナリ此鳥ハ英

國ニ於テモ亦尋常ノ者ナリ

怪鴟コタカ此夜鷹ト稱スル鳥ハ身長サ九寸五分許

合衆國ノ各處ニ棲息シテ羽ハ深褐色ニキテ乳

酪色ノ斑點アリ終日四方ニ散亂スレドモ通例

黄昏ニ至レハ小蟲類ヲ搜索セシガ爲ニ空中ヲ

飛翔ス又此鳥ハ鹽味アル沼地ニ夥多群集シ

其中ニ草ノ生ヅタル所ノバ燕ノ如クニ掬取ス

ト云ハ此鳥飛フトキハ迅速ニ翼ヲ鼓シ鋭キ啼

聲ヲ發シテ六丈乃至七丈ノ高所ニ昇騰ス而シ

テ此高點一屆レバ則チ至急ニ地上ニ降下シ復

突然回轉レテ空中ニ昇騰ス此瞬間ニ於テ轟

聲ノ起ルアリ其聲、此鳥ノ大ナル口ノ膨脹ス

ルコトニ由リテ相發スト云フ

ホイ、フー、ン、奪ル此鳥ハ野鄙ナル顫フルハタル聲

ヲ以テ「ホイ、フー、ン、奪ル」ト云フ語音ヲ速ニ發言

トモ尚之ヲ聞キ得ハレ其飛翔スルコトハ頗低
クシテ屢墻上ニ止マリ小蟲類ヲ搜索スル爲ニ
墻畔ヲ徘徊スト云フ而シテ此鳥ハ其卵子ヲ林
下ノ地上ニ放在スル者ナリ

鷓屬 此屬中ニテ最モ快樂ナル者ハ恐クハ歐

羅巴天鷓ナラシ蓋此鳥ハ歐羅巴地方ノ最愛ス

ハキ啼鳥ニテ大サ殆ト合衆國ノ藍色鳥ノ如

ク其羽灰色ナリ其啼聲ヲ發シテ飛翔スルトキ

ハ螺旋狀ニ昇騰シ遂ニ啼聲モ耳ニ達セズ形象

モ目見ガザル處ノ高天ニ届ル云フ其啼聲

第八百一圖



天鷓

ノ好音ナルコト諸鳥

及ノ所ニ非ズ氣候温和ニ

レテ景色明媚ナル時節ニ

方テ善ク轉スルニ依リ特

ニ世人ノ愛好ヲ増加スト

云フ

樹鷓 此鳥ハ大サ殆ト鷓

ト同一ニシテ啼聲モ亦鷓

ノ如クナレドモ少シク異ナル所アリ其高飛ス

ルニ天鷓ヨリモ大ナル環狀ノ翔路ヲ劃シテ昇

騰スル者ナリ濱鷄ハ亞米利加及歐羅巴ニテ認
 知セル者一レテ其習作ハ天鷄ニ類似シ鳴聲頗
 美ナリ合衆國ノ南部ニ在リテハ尤尋常ノ者ナ
 レドモ此部ニハ稀ナリオットル氏ハ亞米利加
 ノ牧地鷄ヲ鷄鶉ノ屬中ニ列レタリ
 白頰鳥屬 レビフカラ 此屬ハ短キ堅牢ノ嘴ヲ具シ性敏捷
 ニレテ静ナラズ怒リ易キ小鳥ハ一屬ナリ此屬
 ハ小蟲類ノ大敵ニシテ數族相共ニ棲息シ穀物
 及果實ヲ食シ時トシテハ疾病アル鳥類ヲ襲ヒ
 其腦ヲ吞噬スト云ノ其争鬪ヲ好ミテ肉味ハ鳥

肉ヨリモ惡シク啼聲ハ喧聒ナル連雀ヨリモ惡

第八百二圖



白頰鳥

蒿雀屬 アヲビ 此屬ノ種ハ歐羅巴及亞米利加ニ數多
 ニシテ其種ハ雌雄相偕ニ棲息シ或ハ小群ヲ爲

レト云フ有冠白頰鳥及世
 人ノ認知セルチカビ即
 黒帽白頰鳥等ハ亞米利加
 ニ尋常ノ者ナリ黒帽白頰
 鳥ハ歐羅巴ニ於テモ亦能
 ク認知セル者ニレテ其他
 尚外國ノ種數多ナリ

レテ運動シ粉質ノ種子ヲ食フ雪蒿雀ハ常ニ北
 方ノ地ニ棲息スル者ナレドモ冬天ニ垂ントス
 レバ則大概南方ニ赴キ羽色ハ氣候ニ因リテ變
 ズト雖モ多クハ過白色ニシテ身長サ七寸五分
 許ナリ又此鳥ハ雪鳥ト名ヅクル淺藍色ノ雀ト
 區別セシガ爲ニ屢白雪鳥ト稱ス黑喉蒿雀ハ身
 長サ六寸許合衆國中ノ普通ナル者ニシテ氣候
 溫和ノ間ハ各所ノ野中ニ轉々スル者ナリ
 此亞米利加ノ各所ニ棲息シ四時トモ絶エス翻

牝牛蒿雀

此鳥ハ

ト

ロ

ビ

ヤ

ル

翔飛回スル者ニシテ屢牝牛トロビヤル或ハ牝
 牛黒色畫眉ト稱ス帶黒褐色ニシテ身長サ七寸
 許勉テ蟲類及小蟲類ヲ食フ且此鳥ハ頗牛ニ親
 善ナル者ニシテ常ニ牛ノ周邊ニ來リテ其食ヲ
 採拾スト云フ

牝牛蒿雀

歐羅巴杜鵑ヨウロパヘンシムクノ如ク其卵ヲ他
 鳥ノ巢中ニ放在シテ自巢窩ヲ造ラズ其啼ク時
 ハ羽毛ヲ逆立シ自負シタル形狀ヲナシテ喉音
 ハ轉聲ヲ發スト云フ又其雄ハ高キ枝端ニ止リ
 時々クムククナリト云フ啼聲ヲ發シテ自娛

歐羅巴杜鵑

又其友ト相伴フ時ハ自、温和ナル啼聲ヲ發シ勉
 テ其友ヲ慰メ自己ノ多辯ヲ誇ビル者ノ如シ又
 此鳥ハ赤翼、黒色畫眉ニ類似スル者ニレテ屢之
 ト交遊スルコトヲ見ルナリ
トウウヰ、ビュンチン即地上知更雀 此鳥ハ屢
 森林及叢藪ニ來リ蟲類小蟲類ヲ搜索セシガ爲
 枯葉ノ上ヲ搔ケ者トリス間ニ下ウキトウ
ト云フ語ニ類似セシ聲ヲ發シテ其友ヲ呼
ビ若其答ナケレバ則更ニ高聲ニ「トウウヰ」ヲ及
 復スト云フ此鳥ハ正直ナル者ナレドモ「トウウヰ」

「レ黄雀及地上知更雀ト唱ルハ他又盜賊及偽
 者等ノ數名アリ大抵北亞米利加ノ各所ニ棲息
ト云フシテ地上ニ巢ヲ造リ善ク其雛ヲ注意撫育ス身
 長サ八寸許ニシテ上部ハ黒色下部ハ白色ナリ
ト云フト云フ氏ハ之ヲ黄雀屬ノ中ニ列セリ
 黄雀屬 此屬ハ黄雀、雀、蠟嘴鳥、拙老婆、紅雀等ノ
名ヲ有セル鳥類ノ種數多ク包有セリ此數種ハ
 各異ナル所多シト雖モ性質ハ互ニ能ク肖似セ
 リ此鳥種ハ全世界ニ散布シテ森林、叢藪及庭園
 ノ中ニ棲息シテ常ニ群集シテ種子ヲ食フ其人ニ

第八百三圖



黄雀

馴レ親ムノ情アルト美ハシキ啼聲
ヲ發スルト性ノ活潑ナルトニ因リ
テ他ノ鳥類ヨリモ風致ヲ添フルコ
ト甚多ク且容易ニ家ニ飼養スベキ
者ナリ真正ノ黄雀屬中ニテ吾人ノ最モ愛娛ス

ル者ノ亞米利加種ノ藍靛鳥着色^{インヂモビル}ビンチング^{インチト}黄
色鳥及外國種ノ時辰雀^{カナリイロト}金絲黄雀^{チヤヒンレ}金色黄雀等^{エルク}ナ

時辰雀^{カナリイロト}人ノ能ク認知セル此小啼鳥ハ加拿利
島^{カナリイロト}カトリプ、^{カナリイロト}及^{カナリイロト}マデリ^{カナリイロト}ア諸島ノ土産ナリ

身長五寸許羽色種々或ハ黄或ハ白或ハ淡綠色
ノ斑點ヲ帶ブル者アリ此鳥ハ其聲ノ可憐ナル
コトハ性ノ甚順良ナルコトニ因リテ殆ド文
明ノ諸國ニ弘マリタリ而シテ此鳥ハ產地ノ各
鳥ニ在リテハ羽色淡黒ニシテ籠中ニ飼フ者ノ
如ク美麗ナラズ又此鳥ハ人ノ親シクシテ之ヲ
飼養スル人ノ爲ニ捕ヘラルコト甚多シ性亦
頗馴習ニ適當シタル者ニテ善ク非常ノ所作ヲ
會得スルモノナリ

金色黄雀^{ゴールド、ヒンレ} 亞米利加ノ金色黄雀ハ光澤アル^{ツク}樽

椽色ニシテ翼ト尾ハ黑色身長サ五寸許常ニ種
 子ヲ食ヒ一般黄色鳥ト稱レテ世人ノ能ク認知
 セル者ナリ歐羅巴ノ金色黄雀ハ褐色ニシテ其
 頭上深紅色翼ハ黑色白色アリテ下部ハ悉ク白
 色ナリ其他ハ皆亞米利加ノ金色黄雀ニ類似セ
 此鳥ハ歐羅巴、亞細亞、亞米利加等ニテ
 其種數多アル者ナリ皆短キ堅牢ノ嘴ヲ具シ硬
 キ種子ヲ餌食ス此種英蘭及蘇格蘭ニ於テ尋常
 ナリ者トシテモ合衆國ニテハ罕ナリ此種ノ松蠟

嘴鳥即拙老婆ハ嚴冬中合衆國及加拿宛ニ來ル
 ト雖ハ大概ハ北極地方ニ棲息シ深紅面拙老婆
 ハ合衆國阿干薩ノ平原ニ棲息ス又拙老婆ノ種
 類ハ皆音樂ノ調子ニ從ヒ愛ス可キ啼聲ヲ發ス
 ル才能アリ故ニ歐羅巴ニテハ此種類ニ笛音ノ
 調子ヲ教ヘ或ハ言語ヲ教フト云フ
 雀 此名ノ鳥類ハ黄雀屬ニ列スレドモ其種ハ
 夥多ニシテ兩大陸ノ温帶並ニ寒帶地方ニ散布
 レ大概ハ家屋、庭園ノ周邊ニ棲息シテ屢窓下ノ
 茂樹中ニ巢ヲ構フ其合衆國中ニテ最モ愛娛ス

ル種類左ノ如シ身長サ六寸五分許ニシテ稍時
 辰鳥ニ似タル啼聲ヲ發スル爲ニ著名ナル轉雀
 並ニ帶藍黑色ニシテ身長サ七寸許ナル尋常雪
 鳥並ニ黄色鳥ノ如ク枝ヨリ枝ニ飛翔スル時震
 聲ヲ發シ身長六寸許ナル樹雀並ニ他ノ諸鳥ノ
 種ヨリモ甚夥多ニシテ合衆國人ノ熟知セル身
 長五寸五分許ナル木片鳥即木片雀並ニ木片雀
 ニ類似シニ其親友タル野雀並ニ沼池及牧地ヲ
 好ミ身長サ六寸許ナル沼池雀等是ナリ其他尚
 合衆國ニ産スル者一二種アリ而シテ其餘ハ皆

外國産ノ者ナリ
 紅雀 リチット 此名ノ諸鳥ハ皆黄雀屬中ニ列スル者ニ
 シテ米理堅紅雀即紫色黄雀ハ身長サ六寸許羽
 深紅色ニシテ脊ト翼上トニ淡黒ノ斑點アリ其
 啼聲ハ好美柔和種々ニ變化シテ時辰雀ノ啼聲
 ニ優ルト云フ且此鳥ハ屢喬木ノ梢ニ止リテ自
 己ノ周邊ニ何鳥ノ來ルヲ知ラズ各鳥ヲ蔑視セ
 ル如キ形狀ヲ爲テ最モ得意ノ啼聲ヲ發スル者
 ナリ且此鳥ハ夏間合衆國ノ北部ニ棲ミ冬天ニ
 近ヅケバ去リテ南部ニ行ク又歐羅巴ノ尋常褐

色紅雀ハ身長サ五寸許ニシテ美聲ヲ發レ容易
ニ馴致スベキ者ナリ

蠟嘴鳥亞屬 亞屬トハ屬中ノ小別ニレテ一ニ種ノ鳥種ヲ包有スル者ヲ云フ

此亞屬ハ數種ヲ包有シテ其嘴短ク且大ナルヲ

以テ之ノ大嘴鳥ト名ヅク本蠟嘴鳥即赤色鳥ハ

頭上ニ鶏冠ヲ具シタル亞米利加ノ一美鳥ナリ

此鳥ハ大ナル鳴聲ヲ發スル者ニシテ往々勿爾

吉尼鷲鵲ト名稱シテ合衆國ノ暖地ニ於テ尋常

ノ者ナリ又晚蠟嘴鳥、赤色胸蠟嘴鳥、藍色蠟嘴鳥

ハ皆亞米利加ノ種ナリ 松蠟嘴鳥ハ兩大陸ノ北

方ニ棲息シ松樹ノ種子ヲ食フ者ニシテ拙老婆

ノ中ニ屬セリ

横嘴雀屬 此屬ノ鳥類ハ歐羅巴及亞米利加ノ

北方ニ棲息シ常ニ松樹、樅樹ノ種子ヲ食フ此屬

ノ嘴ハ甚奇異ニシテ其尖形十字ノ如シ故ニ其

嘴ハ松樹ノ子殻ヨリ種子ヲ取出シテ之ヲ食フ

ニ適應セリ 大横嘴雀即小鷲哥横嘴雀ハ身長サ

七寸許帶黃灰色ナリ而シテ間深紅色ノ者アリ

此鳥ハ歐羅巴及亞米利加ノ北部ニ居住シテ常

ニ松林中ニ棲息ス

尋常橫嘴雀 コンモンノロックスビル 此鳥ハ身長サ六寸許羽ハ帶緑ノ
 黄色ニレテ時々相毆シ兩大陸ノ北極地方ニ棲
 息シテ白松ホワイトパイン及加奈多姆カナダツグノ種子ヲ食ヒ高調ノ銳
 聲ヲ發スル者ナリ其大雪ノ間ハ饑餓スルニ因
 リテ善ク人ニ馴トヒョウノ如ク群ヲ成シテ山中小
 舎ノ周邊ニ飛下ス此時ニ至レバ棍ヲ弄シテ容
 易ニ之ヲ打殺シ得ル也白翼橫嘴雀ハ身長サ五
 寸五分許帶黒深紅色ニレテ翼上ニ帶狀ノ白色
 ナリ其習作ハ尋常橫嘴雀ノ如シ前文記載シタ
 ル松蠟嘴鳥パインゴーストビークハ正ニ此橫嘴雀屬ニ適應スル者ナ

啄牛鳥 ピノエーテル 此鳥ハ亞非利加塞内牙ノ産ニルニ身
 長サ八寸許上部ハ光澤アル褐色下部ハ汚穢ナ
 ル黄色ナリ太キ堅牢ノ嘴ノ具レ之ヲ以テ牛ノ
 脊部ニ生ジタル蟲類小蟲類ヲ啄ミ採リテ之ヲ
 食フ者ナリ
 「カッレコーレ」屬 南亞米利加鳥類ノ一屬ニレテ
 其數甚多ク穀類收納ノ時ニ甚レキ損害ヲナス
 者ナリ通常穀物及小蟲類ヲ食ヒ又其他ノ物ヲ
 モ成殘レ群集棲息シテ巧ニ團聚ノ巢ヲ構造ス

博物學 卷六 四

第八百四圖



「カッレ・ー」

ト云フ又牝牛「ビシチ」ハ酷
 此屬ニ肖テ適應スル者ナリ
 鷓鴣屬 此鳥屬ハ皆地上ニ住
 スル小蟲類ヲ食フ者ナリ歐羅
 巴ノ尋常鷓鴣ハ身長サ八寸許
 黄銅色ヲ帯ヒタル黒色ニシテ
 樹木ノ屈窩、屋瓦ノ下際、牆壁ノ空穴等ニ巢ヲ構
 常ニ群集シ、合衆國ノ黒色畫眉ノ如ク轉ス
 ル者ナリ此屬ハ音調ニ合ヒテ鳴キ又詳ニ言語
 ヲ教フルコトヲ得ベシ外國ニハ此屬ノ種尚數

第八百五圖



鳥

多アドモ亞米利カニハ人ノ能ク認知セル牧
 地鷓鴣一種アル其羽毛ノ鮮麗ナルト肉味
 美好ナルト春天亮然タル哀聲ヲ發スルハ
 實ニ驚クニ堪ヘタリ又「ウヰルソ」氏ノ説ニ赤翼
 黒色畫眉ハ真ニ此屬ニ列スル者ト想定セリ
 鳥 此鳥種ハ世界中ニ數多アリ
 テ甚狡猾且ツ偷盜ノ性アルヲ以
 テ他鳥ト區別スル者ナリ此鳥種
 ハ其飼主ノ音聲ヲ擬シ又其命令
 ニ從フコトヲ教ヘ得ヘシ鳥ノ主

眼ナル種類ハ鴉、屍鳥、被衣鳥、カオ、ロ、コ、モ、ン、コ、ロ、香、カオ、ロ、コ、モ、ン、コ、ロ、即赤時鳥、魚

鳥、小鳥鴉、白嘴鴉等ナリ

屍鳥即尋常鳥 カオ、ロ、コ、モ、ン、コ、ロ、此鳥ハ世界中ニ棲息シ鴉ヨリ

小ニシテ深黒色ナリ北亞米利加ニハ夥シク棲

息シ甚厭フ可シ且ツ穀田ニ大害ヲ爲ス者ナリ

此鳥播穀ノ時ニ方リテ穀物ノ芽ヲ摘ミ或ハ之

ヲ根ヨリ拔キ又秋ニ至リテ穀物成熟スル時ハ

田中ニ數多群集シテ大害ヲ爲シ或ハ又腐肉果

實分類ヲ餌食ス其分類ヲ食ント欲マシムハ之

ヲ高處ヨリ堅硬ナル面上ニ落シテ其壳ヲ破

隨テ其肉ヲ啄ムト云フ

被衣鳥 此鳥ハ歐羅巴産ノ一鳥ニシテ身長ナ

二尺一寸許羽ハ暗灰色善ク重複ノ叫聲ヲ發ス

ル爲ニ著レ一聲ハ空音ニレテ一聲ハ清亮宛モ

雄鷄ノ叫ブガ如シ此鳥ハ常ニ蟲類、穀物、腐肉コ

食ヒ又濤波ノ爲ニ投上ラレタル物ヲ食ハント

欲シテ屢海邊ニ到ルト云フ

魚鳥 此鳥ハ亞米利加固有ノモノニシテ身長

サ一尺六寸許羽ハ光澤アル黒色ニシテ歐羅巴

ノ白嘴鴉ニ類似セリ屍肉、魚類及蝶蠅等ヲ食ハ

ント欲レテ平常河邊ニ在テ光陰ヲ費スト云フ
又此鳥ハ餘殘ノ魚類ヲ拾ハンガ爲ニ紐折爾西
ノ漁人ニ從行スル者ナリ

鵓 此鳥ハ古來ヨリ人ノ認知セル者ニシテ殆
世界各國ニ棲息セリ且無知愚昧ノ人ハ常ニ之
ヲ不吉ノ鳥ト考定セリ蓋其形狀ノ悲哀ナルト
鳴聲ノ不調ナルト相貌ノ野鄙憮然ナルコト等
ニ因リテ一般ニ厭忌憚恐トナル、處ノ感動ヲ
誘起セシモノナク又昔時占ト^{ウラナヒ}教門ノ一部々
リシ時ハ總ハテ此鳥ノ舉動ト鳴聲トニ注意シ

テ占斷ヲ想像シ大ニ之ヲ信仰セリト云フ
鵓ハ身長サ二尺六寸許美麗ナル深黒色ニシテ
紫色ノ光澤ヲ帯ヒ鼻言及視官ハ甚銳ニ故ニ遠
隔セル處ニ在リテ善ク其餌食ヲ諦視シ屍肉蠍
鼠鼯鼠蚯蚓類小蟲類ヲ啄ム且此鳥ハ長壽ノ爲
ニ著名ナル者ニシテ百年餘モ生活スト云フ
白嘴鴉 此鳥ハ歐羅巴ニ棲息シ身長サ一尺五
寸許羽ハ美麗ノ黒色間々白色變種アレドモ甚
稀少ナリ且此鳥ノ英蘭ニ産スル者ハ決レテ他
邦ニ移ルコトナシト雖モ其他國産ノ者ハ諸國

ニ遷移シ其數夥多ニシテ群ヲ成ストキハ空中
 暗黒ナルニ至ルト云フ又此鳥ハ年々一樹ノ高
 枝ニ巢ヲ構フル者ニシテ時トシテハ一樹上ニ
 十二個ノ巢ヲ存スルコトアリ其小蟲類ヲ餌食
 スルニ因リテコクモシケル黃砂サマノ繁殖ヲ防クニハ毒ドク要用
 大ナリ故ニ此鳥ハ農夫ニ幸福ト災害トヲ併セ
 與トスコル者トス
 小鳥鴉ビヤクドク此鳥ハ歐羅巴ニ産シテ羽ハ黑色身長
 サ一尺三寸許イキナラシ英蘭ノ敗壞シタル家屋ノ周邊ニ

第八百六十六圖



喜鵲 及 梟

居ル者ナリ之ヲ馴致シテ能ク一二ノ言語ヲ話
 スルコトヲ教フベシ又此鳥ハ竊偷ノ意アル者
 ニシテ屢貨幣及寶玉等ヲ藏匿スル者ナリ
カサ、ギ喜鵲 此鳥ハ鳥屬ノ
 如ク狡猾竊盜及好事
 ノ性ヲ有スル者ニシ
 テ身長一尺八寸許羽
 ハ剪ビロウ絨ノ如キ黑色ニ
 シテ頭及胸白斑アリ
 歐羅巴及亞細亞ニ尋

常ノ者ニシテ常ニ英國佛國ノ菓木園并ニ田畝
 ニ住居ス此鳥亞米利加ニ於テハ米西悉比河ト
 岩石山トノ間ニアル曠野ノ平原ニノミ限レリ
ト云フ

喜鵲ハ人聲ヲ擬鳴シ又言語ヲ話スルコトヲ教
 フ可キ者ニシテ甚多辨ナリ故ニ人多辨トル
 者ヲ稱シテ喜鵲ノ如シト云フト云フ 氏ク云
 トク氏ノ太平洋旅行中西方ノ荒野ニ於テ甚親
 狎ニシテ且粗暴ナル喜鵲ヲ發見セリト云フ此
 鳥ノ招カズレテ帳幕ノ中ニ來リ無禮ナル人ノ

第八百七十七圖



及 櫛鳥 及 梟

好ク盃盤ヨリ食物ヲ掠奪去リ又獵夫其獲ヲ
 製スルニ際目前ニ來リテ其數片ノ肉ヲ奪去ル
ト云フ

櫛鳥カドドリ和名比鳥ハ其種
 數多ニシテ性噪鬧羽
 色光澤アリテ性奇ヲ
 好ハ者ナリ合衆國ニ
 ハ其種五個アリテ最
 セ著ルキ者ハ人ノ能
 ク認知シタル羽色美

麗ニシテ狡猾盜心アル
藍色楮鳥ナリ思フニ此種
ハ林中ノ粧扮子ノ一ニレテ
江湖ノ粧扮子ノ如ク其美麗ヲ自負スルモノニ似タリ外國ニハ此
五種ノ外尚數種アリ

雀皇ノワテヤ一名天イロトオノバラス鳥 此鳥ハ大雀皇、王雀皇、金色胸雀皇

等ノ數種アリテ皆亞細亞ノ諸鳥及紐幾内亞ゴルダンアレストノ

某所ニ棲息シ常ニ三十乃至四十隻群集セリ航

海家ハ多ク此種類ヲ空中ニ見ル故ニ想像シテ

之ヲ天樂園ノ鳥ト名ヅク其羽甚美麗ニシテ衣
脈粧飾ノ用ニ供ヒ大ニ貴重セリ大雀皇ハ其羽

第八百八圖

大雀皇



毛ノ夥多

ナルニ因

リテシマ鶴ノ

如キ大サ

ニ見ユレ

ドモ其體

ハ知更雀

ヨリ大ナ

ラズ此鳥ハ長キ羽毛アルガ爲ニ風ニ逆ハテレ
バ飛翔スルユト能ハズ其性サワカレキ噪鬧ニシテ凜々タ

ル聲ヲ發レ人ニ捕ヘラレントスル時ハ意ヲ決
レテ能ク身體ヲ防禦スト云フ此他ノ種ハ皆小
ナル者ナリ

六絲線雀皇

比鳥ハ美麗ナル奇鳥ノ一ニシテ

第八百九圖



六絲線雀皇

羽ハ五色ヨリ少カラズ或ハ非
常ニ光澤ヲ帶グル者アリ頭上
ニ風領様ウツマキ 羽毛ヲ具シ脊上ヨ
リ出ル六個ノ長キ羽毛アリテ
其端ハ皆絲線ノ如シ其奇怪衣
樂ウツマキ 奇怪ノ衣服ヲ着
タル人形ノ出ル球ノ如キ形

狀ヲシテ空中ヲ飛翔スル景況ハ實ニ奇ト云

雀皇鷄 パラクイス 此鳥ハ奇異ナル美麗鳥ニシテ頭上

毛冠ト度ヲ劃シタル如キ長尾トヲ具スルモノ

第九百圖



雀皇鷄

昔者雀皇屬ハ足無クシテ其
死ニ至ル迄空中ニ棲息シ香
氣花蜜露等ヲ餌食スル者ト
想像シタレドモ全ク無根ノ

妄想ニシテ此鳥屬ハ小蟲類果實腐肉及他鳥ノ

雛ヲ食フ者ナリ譬ヘハ猶世人ノ甚珍味ヲ食ス
ル爲ニ著名ナル者ト雖モ其實ハ常人ト同シ食
物ヲ餐スルコト往々之アルカゴトシ

樹鼠屬キヨスミ名和 此屬ハ其種數多ニシテ皆其專トス
ニツトツチ

ル食餌ノ小蟲類ヲ搜索スルガ爲ニ樹木ニ攀上
ス其昇降極メテ容易ナリ又時トシテハ尖銳ナ
レ嘴ヲ以テ胡桃ヲ啄破シテ核ヲ食ヒ寒帶及温

帶地方ノ樹木ノ空窩ニ巢ヲ構フル者ナリ歐羅
巴樹鼠ハ羽鉛色胸部橙色ニシテ身長サ五寸五

分許ナリ白色胸亞米利加樹鼠ハ上部鉛色下部

白色身長サハ前者ト同クニシテ普ク其亞米利

加ニ棲息シ小蟲類ヲ搜索スル爲ニ樹木ノ周邊

ヲ巡廻スル際屢クコンクコンクト云ハル鼻音ノ

銳聲ヲ發スル者ナリ赤色腹樹鼠及褐色頭樹鼠

ハ前者ヨリ小ニシテ亞米利加ニ棲息ス

樹走鳥キハシ名和 此鳥ハ其種數多ニシテ皆硬強尖銳

ナル尾羽ヲ以テ體ヲ支ヘ啄木鳥ノ如ク樹木ニ

攀上レテ小蟲類ヲ食ヒ樹窩ニ巢ヲ構フル者ナ

リ歐羅巴ノ尋常樹走鳥ハ帶黃褐色ニシテ身長

サ五寸五分許ナリ褐色樹走鳥ハ合衆國ニ棲息

スレドモ尋常ノ者ニ非ラズレテ身長五寸許羽
褐色ナリ此鳥ハ徐々トレテ松樹^{パイン}ヲ直線ニ昇降
スル際其樹皮ヨリ小蟲類ヲ拾ヒテ之ヲ食ヒ又
種子ヲモ食フ博物家某氏ハ此褐色ヲ歐羅巴產
ノ種ト同一ナリト想定スレドモ其習作ハ相異
ル者ナリ

錦雀仔屬 此屬ノ種ハ百個ヨリ少ナカラズレ
テ夏間合衆國ニ來ル赤色咽喉ノ種ヲ除ク外
皆亞米利加熱帶地方ニ限レル者ナリ此鳥種ハ
動物創造中ハ怪異ナル者ニシテ羽ハ寶石ノ如

第九百一圖



有冠綿雀
チツカニフ
カウボウ

地球ニ到來セシ者乎ト疑ハル其種中ニテ最モ
美麗ナル一種ハ伯西爾產ノ有冠綿雀仔ナリ
此鳥ハ身長サ一尺一寸許羽褐色ニシテ

キ光澤ヲ帶テテ輝キ空中ヲ飛
翔スルトキハ鼓翼ノ響蜂聲
如ク其迅速ナルコト恰モ奔箭
ノ如シ常ニ花蜜ヲ食ヒ草木ノ
下ニ巢ヲ構フル者ナリ故ニ此
鳥種ハ元來光明輝タル某世界
ニ居住ヒシ者ナリシガ偶然此

第九百二圖



戴勝 ホウボウ

亞細亞、亞非利加、溫帶地方ニ於テ大凡ニ十種
アリ尋常食蜂雀ハ翼ヲ以テ蜜蜂及黃蜂ヲ捕
テ之ノ餌食ス地中海ニテハ蠟絲ノ端ニ鉤ヲ結

頭上ニ毛冠ヲ具シ東大
陸ニ於テ尋常ノ者ナリ
又馬達加斯ニセ此他ノ
種類アリト云ノ此鳥種
ハ皆甲蟲類、蟲類、蝸牛類
等ヲ食トス

食蜂雀 ビエーノル 此鳥ハ歐羅巴

第九百三圖



食蜂雀 ビエーノル

ハ亞米利加ニ産シ一ハ歐羅巴ニ産シ其他ノモ
ノハ全地球ノ各所ニ産セリ又亞米利加種ノ佩
帶魚狗ハ鄙野崎怪ナル容貌ニシテ通常急流上
ニ聳エタル枯木ニ止リ屢擊柝ノ如ク叫聲ヲ發

着シ此鉤ニ蜜蜂ヲ繋リ着ケテ
之ヲ以テ能ク此鳥ヲ捕フト云
フ印度食蜂雀ハ身長サ殆黒色
畫眉ノ如クシテ蜜蜂、蟲、及
他ノ小蟲類等ヲ餌食ス
魚狗 カハヒ 此鳥ハ其種數多アリ一

鳥類 卷之六

文音

ス其身長サ一尺二寸許帶藍石板色ニシテ白色
ノ斑點アリ其主トフル食餌ハ巧技ヲ以テ水中
ヨリ迅捕セル小魚ニシテ時トシテハ飛翔スル
小蟲類ヲモ捉ヘ食ノト云フ



種原芳野 校

具氏博物學卷之六終

